

三十五年の歩み

社会福祉法人 藍

創立 35 周年記念誌

利用者みなさんからのメッセージ



(平成 27 年度利用者さんより)

35周年を迎えて

昭和55年に障がい者の働く場ひらの作業所が発足して以来、記念すべき35年という節目を迎えることが出来ました。これもひとえに、地域の皆様方をはじめ、行政、関係諸機関の方々の温かいご理解とご支援をいただいたおかげで御座います。心より厚くお礼申し上げます。

振り返れば、障がいがあるために就職ができず、友達との交流もなく、在宅での生活しかなかった時代に、障がいのある子を持つ親たちが集まり、その子供たちが社会参加できる場所を目指して創り上げたのがひらの作業所の始まりでした。ひらの作業所発足当初は、無認可作業所のため運営が厳しく、山あり谷ありの道のりでしたが、バザーや廃品回収など、親たちが持てる力を最大限に発揮し、いくつもの苦難を乗り越えてきたことを思い出します。そのような時代を乗り越えていくなか、障がい福祉の制度についても、支援費制度、障害者自立支援法を経て障害者総合支援法へと移り変わって行きました。措置の時代から地域生活へと改革が進み、利用者本位のサービス体系が設けられ、少しずつですが障がい者が地域で生活しやすい環境が整ってきました。それと同時に、障がい福祉サービス事業としての介護報酬により、無認可時代に比べると経済的な面でも運用がしやすくなりました。

しかしながら、今日の我が国においては、医療費や介護費といった財源確保が困難な状況であり、医療・福祉関係においては人材不足も問題視されるなか、障がい福祉サービス事業においても人材確保や安定した事業収益について大変厳しい時代を迎えております。そのような背景のなか、在宅医療や在宅介護などが押し進められ、どのようにして在宅での生活を送ることが出来るのかを考えなければならない時代に突入したようにも感じます。

ひらの作業所発足以来、障がいのある子を持つ親が福祉の現場や家庭の中で、障がいのある子を支える中心的な役割を担ってきました。35年経ち、親も子もお互いに歳を取った今、これからも障がいのある子を支えながら生活していけるのかと不安がつのることもあります。

安全と安心の日々を送ることが出来るよう、我々社会福祉法人がなすべきことは何かを考え、地域における包括的なサービスの一役を担い、皆様方と共に力を合わせて、先に見える世の中になっていけるよう今後も努力して参りたいと考えております。

今後も皆様方の変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。

平成28年3月25日

社会福祉法人 藍
理事長 保田八十次

ご家族からのメッセージ

創立 35 周年、おめでとうございます。早いもので嘉和も入所して 30 年余り。所長をはじめ保護者さんも資金作りのため、いろいろ考えられ、大型バザー、ミニバザー、手作り作品等の販売でその時の保護者さんも若かったこともあり、一生懸命に頑張られ、今、思えばよくがんばったなと思います。今とは天と地、なかまも元気に通うことができ、ありがとうございました。

岩橋さん

生野養護学校卒業と同時、昭和 55 年の春に作業所へ入所させていただきました。所長さん、初職員、周りの保護者の方々と、バザー、手作り手芸、新聞の回収など、障害者の働く姿を見ると安心しました。今日まで育ててくださった理事長のお力、ありがとうございます。障害者にとって厳しい年になりそうですが、社会福祉法人藍の 35 周年をお祝い申し上げます。今後、障害者の憩いの場でありますようお願い申し上げます。

塩入さん

ひらの作業所が 35 周年を迎えるにあたり、それと共に歩んだ道のりは決して穏やかなものではなく、娘が入所したころは、バザー、出店、廃品回収や模擬店、手作り、給食作りと保護者同士が力を合わせて参りました。娘も入所して 30 年以上お世話になっていて、親も年を重ね、娘も関節リウマチに罹り、歩行困難になり 5 年になり、今職員さんにお世話になりながら日々暮らしており、いつまで体力が続くかわかりませんが、健康に気をつけながら頑張りたいと思います。

吉田さん

作業所が出来て 35 周年おめでとうございます。月日が経つのが早くて、振り返ってみれば動かない子供を無理やり引っ張って送迎し、慣れないバザーをするのに家族総出で、指導員も、町の人たちも、皆さまにお世話になりながらできたと思います。お蔭様で子供は楽しそうに作業所に通っています。これからもよろしくお願いします。

寒川さん

創立 35 年を迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。35 年の歳月が矢のように過ぎ去り、開所当時から今日までの長い間お世話になり、沢山のものを学ばせていただきました。今は子供も年を重ね、日中は生活介護で通院介助や訪問介護のサービスを受けています。感謝を込めて、今後一層のご発展をお祈り申し上げます。

谷村さん

創立 35 周年記念おめでとうございます。昭和 59 年 3 月、住之江養護学校高等部卒業後、昭和 59 年 4 月 1 日よりひらの作業所に通所させていただき、32 年間お世話になっております。一緒に入所した 4 名の人たちは皆さま去って行かれ寂しいですが、孝は頑張っております。皆さま、スタッフのお蔭と感謝しております。親子とも年齢が高くなり、今後が色々と心配事が多く不安を持ちながら日々頑張っております。今後ともよろしく願いいたします。

西尾さん

35 周年、おめでとうございます。児童、成人、そして歳を重ねた人たちへの生活援助など、障がいのある方々の支援を支えておられる施設・事業所に敬意を払い、そこで働く職員の皆様方に心から感謝の気持ちでいっぱいです。35 年... 本当にそれだけの月日が... と、あのひらの作業所がよくぞ潰れることもなく生き残ってこれたと喜びが湧き上がってきます。そして、新しい始まりです。そこに集う人たちが今日一日を気持ちよく、笑顔が見られる場所でありますようにと願ってやみません。すべての方々に幸多かれとお祈りいたします。最後に、私たち親子も心豊かに日々を送れていることに感謝しております。

保田さん

35周年に寄せて

私自身は、藍ネットワークの出発点である「ひらの共同作業所」の設立から1年4か月後の昭和56年9月に作業所指導員として着任しました。それは、平野区喜連に位置する古い町並みの路地裏の2階建ての文化住宅の1階の一室にありました。10人足らずの利用者さんが、ハンガーのキャップ付けなどの軽作業にとりくみ、手作りのお昼ごはんにティータイム。就学猶予により学校に通うこともなく、在宅生活を続けて来られた方もあり、ご本人にとってもご家族にとっても、大切な場であることはすぐに分かりました。

作業材料はリヤカーで運び、印刷物は輪転機を使うなど、今では信じられない光景ですが、当時としては無くてはならないものでした。しかし、運営は常に厳しい状況でした。行政からはわずかな補助金のみで、その大半をバザーや廃品回収、カレンダーなどの物品販売、利用者負担などで捻出するというものでした。バザーの品物も、親や関係者が地域のご家族を一軒一軒お伺いして、提供を呼びかけていくというものでした。

このような、取り組みはおおよそ20年続きましたが、その後は法人格を取得し、支援費制度という流れの中で着実に歩み続け、居宅介護、児童デイサービスといった事業も始まり、ネットワークとして地域の中で大きな役割が果たせるようになりました。

私も現在は、相談支援専門員として地域の障害のある方の福祉サービスに係る調整を中心として活動させていただいています。今後もネットワークの一員として、障害のある方が思い描くより良き人生を歩めるようにお手伝いさせていただければと願っています。

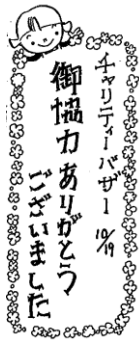
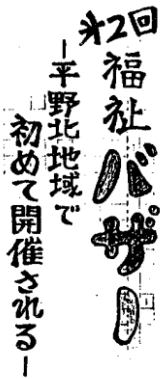
杉浦彰治

沿革で見る 35 年

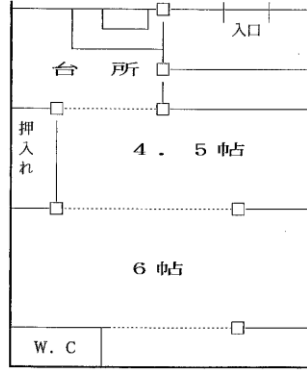
(昭和 55 年～平成 24 年)

平野区喜連 4 丁目の文化住宅（北野文化）にて活動開始。
 廃品回収、区民まつり出店、チャリティーバザーに親たちが奮闘し、作業所の経営を支えながら、険しいながらも楽しい道のりのスタートを切りました。

- 指導方針の内容
 作業を通じて働くことの喜び・生きがいを感じ、楽しく作業ができ協調性・持続性など社会の一員として意識を高める。また、集団生活の中でお互いを助け合い、思いやりの心を育て個々の成長を図る。
- 施設規模
 ☆開所～昭和 57 年



(20 周年記念誌より)



文化住宅をお借りして
 大阪市喜連 4-3-13
 北野文化

昭和 57 年 ひらの作業所を福祉作業センターとして開所
 (大阪府の補助金支給開始)

親も子も望んでいた夢が実現!

開所して二年半、誰かが待ち望んでいた、広い作業所への移設が今年の九月中に実現します。夢にまで見た広い作業所への移、までの至極と、新しい作業所の標榜を見てください。

夢が実現 作業所移設
 私たちの広い作業所



(作業所風景)

行事	事業活動	対
4 1 入所式 15 総会	8 廃品回収	
5 3 作業所まつり (平野南公園)	6 廃品回収	
6 6 入所説明会	3 廃品回収	
7 29 琵琶湖海水浴	1 チャリティーバザー 8 廃品回収祭 11~14 杭全祭出店	白鷺荘
8 26 ティキャンプ (六甲YMCA)	5 廃品回収	2~8 実習受け入れ 20~22 実習受け入れ
9	2 廃品回収 24 区民まつり出店	19 ひびき作業所見学

行事	事業活動	対	外
10 16 芋掘り	7 廃品回収 28 平分祭出店		
11 18 障害者登山 25 うたごえ祭典 (他作業所と)	18 チャリティーバザー 23 はばたけ広がり フェスティバル		
12 1 共作連映画会 23 もちつき大会 28~ 冬休み	2 廃品回収 30 廃品回収		
1 20 入所説明会	13 廃品回収		
2	3 廃品回収		
3 24 バスツアー (私市)	3 廃品回収		

(20 周年記念誌より)

年間活動の一例 (昭和 59 年)
 事業活動のほとんどが廃品回収やチャリティーバザー。
 資金調達に明け暮れる毎日のなか、季節ごとの行事を取り組んでいました。

障害者制度の整備がされていない時代。
 当事者や親らの頑張りなしには、障害者の社会参加ができない時代でした。

平成2年、作業所に不慮の火災が発生し、
 父母らはさらに大きな試練を超えなければなりませんでした。



(平成2年 毎日新聞より)

それでも親子はくじけませんでした。
 運動会では力いっぱい走り、作業所が蘇
 ることを夢見て作業に取り組みました。
 自分たちの居場所が蘇ることを夢みなが
 ら…。



(平成2年 運動会)



(平成2年 作業風景)

作業所の再建中は、旧大和川小学校の体育館を借りて
 作業を続けることができました。

そして、待望の新作業所の完成。ひらの共同作業所から「障害者の働く場ひらの作業所」へ改
 名し、新たなスタートを切ることができました。



(平成3年 再建した作業所)



(グループホーム藍・外観)



(グループホーム藍・リビングダイニング)

第 45 号 (毎月 1 回・15 日発行)

つばさ

1998 年 (平成 10 年) 12 月 15 日

親の手による、重い障害をもつ人たちの二つの小規模作業所が、一昨年、あいついで直属のグループホームを開きました。共に長い年月を経て、病弱や高齢のゆえに子どもを家庭では守れなくなった仲間のために、苦楽を共にした人々が互いに資金を持ちよって始めたのです。私も「地域生活支援センター」はこれをバックアップしています。

センターに直属するグループホームとは異なる、独自の趣きがここには見られます。一つは、温かく包まれるような安らぎでしょう。日常的な介助が必要な人たちのために、世話人さんが起居をともにしているからです。また、親たちの眼が絶えずそばにあるからです。そして一つは、ゆるやかな時の流れでしょう。少数のゆえに、競い合うような、押しつけられるようなせわしさがなく、長い合うような、長く共に育ち合った親しさが、ひとつ屋根の下にあるからです。地域の小さな暮らしの様々な利点が、ここに生きています。

もう一つ特異なのは、自力で作業所を長く続ける中で育て上げた、親たちの強い信頼と結束でしょう。ホームに生活する人たちを、他の親たちも世話人といっしょになつて、交互に支えています。財政面ばかりではない、親の自在な互助機能が、ここに生きています。

そこでは、必要に応じて必要に応じて、他の親たちも自分の子どもをホームに託せます。そこに生活する者にとつて、一夜の客は決して迷惑な見知らぬ他人ではありません。日ごろの親しい仲間です。団らんが、また一回り大きくなるでしょう。互いに相見合う、グループホームとレスパイトケアとの奇妙な合体です。

センターの支援者たちは、少し距離をおいて、二つのこのユニークな試みを見守っています。(山川)



グループホーム藍の完成
平野区背戸口のマンションから始まった共同生活。この年には一戸建てを購入し新たな共同生活が始まりました。利用者ごとに必要な配慮がされ、アットホームな雰囲気での生活の拠点は、当時、他に例を見ない先駆的なスタイルでした。

グループホーム 藍

そのはじめ

「グループホーム藍」は、「平野作業所」が平成十年一月に平野区背戸口のマンションを借りてスタートしました。そして昨年十二月には、平野区喜連に一戸建ての家を購入、エレベータ設置を含めた増築工事を行い、移転しました。

建物は二階建て。一階は浴室、食堂、居間、トイレなどがあり、二階は居室が四部屋とトイレが設けられています。

個人の色に合わせる。ホームの随所に、そのための配慮がされています。例えば、居室は一部屋ごと冷暖房が取り付けてあります。ふすまで仕切られてある部屋なので、一つで十分間に合うのですが、人それぞれによって温度の感じ方が違うために一部屋ごとに設置したそうです。

また、テーブルに座って食事をしてきた人もいれば、座卓に座って食べてきた人もいるので、それにも対応できるように、テーブルと座卓の両方が用意されています。

このように、今までの生活様式をあまり変えることなく生活できるので、利用者の方も安心して暮らせるのかもしれない。人は皆、それぞれ違った生活習慣を持っていきます。グループホームの良さは、そうした個人個人の色に合わせることで

ができるということにあるのでしよう。

さまざまな援助
入居者は五名、内一名は身体に障害のある方です。そして、平野作業所に通っている全員に同じ経験ができるように、メンバーの誰もがホームを利用することが出来ます。

世話人は二名で夕方四時から翌朝十時まで勤務しています。発作が起こった場合や、夜間のトイレの付添いなどに備えて、寝るときも一部屋ずつ分かれて入居者と一緒に寝ています。

また、三時から六時までには、入居者の方が作業所から戻ってきたあと夕食までの間を楽しく過ごせるように、紙粘土づくりなどへ遊びを援助する方が毎日来ています。さらに、男性の入浴介護のための男性スタッフが入浴の時間に来ています。

入居者の皆さんは、ここから作業所に通い、戻ってきてからは、世話人といっしょに夕食作りや入浴、洗濯物の整理などをして思い思いに過ごします。



親亡き後など、家庭で介護を受けることができなくなった時、現在の生活様式を大きく変化させることなく、地域での生活を継続させていけるシステムづくり

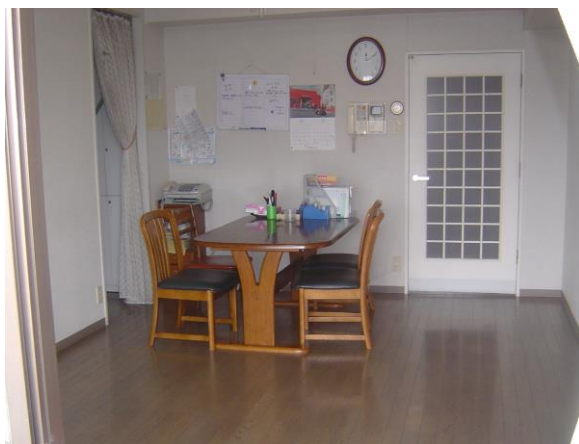
平成 13 年 グループホーム友の開始 社会福祉法人 藍を設立 小規模通所授産施設ひらの作業所開所



(グループホーム友・外観)

この年に、新たなグループホームを追加。社会福祉法人格も取得し、ひらの作業所は知的障がい者小規模授産施設としての位置づけとなりました。

この後、平成 15 年の支援費制度により、障害者のサービス利用は措置から契約へ移行することに...



(グループホーム友・ダイニング)



(グループホーム友・玄関からリビング)

平成 17 年 グループホーム幸の開始

大阪市営住宅でのグループホーム開始。

藍、友、幸の三か所で定員 11 名に拡大。



(グループホーム幸・外観)

(グループホーム幸・キッチン)



(グループホーム幸・居室)



平成 18 年 一般乗用旅客自動車運送事業の許可取得 居宅介護・重度訪問介護・介護タクシー事業・ 放課後等デイサービス開始



(平成 15 年 有限会社ひらの設立)

(地域生活支援センターHIRANO 外観)

障害者自立支援法施行

平成 18 年、サービス提供主体を市町村に一元化。

障害の種類（身体障害、知的障害、精神障害）にかかわらず障害者の自立支援を目的とした共通の福祉サービス体系へ。



(介護タクシー車両)

ひらのの作業所が社会福祉法人として移り変わる中、ガイドヘルプ事業を進めていた有限会社ひらのの「地域生活支援センターHIRANO」では、居宅介護事業、重度訪問介護事業、介護タクシー事業を開始し、それぞれが特徴をもった障がいサービス事業を展開することに...



(地域生活支援センターHIRANO くれよん・放課後等デイサービス)

児童デイサービスの開始

平野区では数少ない児童デイサービス事業（現在の放課後等デイサービス）の指定を有限会社ひらのが受け、地域生活支援センターHIRANO くれよんとしてスタートしました。

(地域生活支援センターHIRANO の 2F にて事業指定)

平成 19 年 小規模授産施設ひらのの作業所を「ひらの」に改名
障がい福祉サービス事業（生活介護）開始



(ひらの 外観)

この年に、障害者自立支援法のサービス体系に移行し、小規模授産施設は生活介護と位置づけられました。



(ひらの 1F 食堂)



(ひらの 2F 作業室)



(ひらの 3F 畳室)

平成 23 年 社会福祉法人藍 くれよん（放課後等デイサービス）開始



有限会社ひらのの 3F 部分を賃貸利用して、社会福祉法人藍が放課後等デイサービスを開始。

(社会福祉法人藍くれよん・放課後等デイサービス)



(社会福祉法人藍 平野西事業所 外観)

社会福祉法人藍では、待機児童の解消と卒業後の日中活動の場の拡大を図り、少しでも多くのニーズをカバーできるよう、放課後等デイサービス（旧法：児童デイサービス）と生活介護の多機能型事業所の建設をしました。

平成 24 年 社会福祉法人藍 第二くれよん（放課後等デイサービス）・ひらの（生活介護）の従たる事業所開始
相談支援事業ひらのの開始



(社会福祉法人藍第二くれよん 指導室・放課後等デイサービス：平野西事業所 3F にて事業指定)



(ひらのの従たる事業所 訓練室およびキッチン・生活介護：平野西事業所 1F にて事業指定)

季刊誌で見る 35 年

(平成 16 年度～平成 27 年度)

プール活動

今年もみんなが楽しみにしていた、プール活動の季節がやってきました。7月27日をかわきりに毎週火曜日、長居障害者スポーツセンターにて8月31日まで活動を行いました。

今年もたくさんのボランティアさんの、お手伝いもあり事故なく活動する事ができました。ボランティアの皆さん誠にありがとうございました。

夏期実習生受け入れ

7月28日（水）から8月27日（金）までを4週に分けて3日間、夏期実習受け入れを行いました。これからの生活や進路で、少しでも役立てば嬉しいと思います。

大阪市育成会大会



午前の部カラオケ様子

9月12日（日）今年で第4回を迎える大阪市知的障害者育成会大会に参加しました。本人大会は、中央区民センターにて行われました。

なかま一泊旅行

9月9日（木）～10日（金）の2日間で、なかま一泊旅行に行ってきました。

今年の行き先は、和歌山県にある白浜温泉と白浜アドベンチャーワールドへの旅となりました。



「宴会場にて・・・」



カラオケ大会「イエーイ！」

アミティ舞洲運動会

11月19日（金）舞洲障害者スポーツセンターにて「第7回アミティ舞洲運動会」に参加しました。

健康診断

12月1日（水）平野西小学校に市民検診に行ってきました。

もちつき大会



「よいしょ！よいしょ！」

12月21日（火）作業所恒例「もちつき大会」を行いました。

クリスマス会



☆メリークリスマス☆

12月24日（金）みんなが楽しみにしていたクリスマスがやってきました。この日に向けて、なかま・職員で作業所の中の飾りつけや模様替えなどを行いました。みんなでクリスマスソングを合唱したり、カラオケやビデオを見たりと楽しい1日を過ごしました。

なかま忘年会

12月28日（火）本年の作業所仕事納めの日に、南巽にあるサンマルク（洋風レストラン）にてなかま忘年会を行いました。

年頭所感

新年明けまして、おめでとうございます。

皆様方には輝かしい新春を家族お揃いで、健やかに迎えになられた事とお喜び申し上げます。

昨年は地域の方々を初め、後援会、関係者各位の皆様より暖かいご支援を頂きました事、心より厚くお礼申し上げますと共に、今年も変わらぬご支援ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

当作業所も小規模通所授産（社会福祉法人）を取得して今年の11月で丸4年を迎えます。これもひとえに、ご支援を頂いております多くの方々のおかげだと心より思っておりますし、感謝しております。

今では作業所・グループホーム・居宅支援事業所の3つで、法人「藍」のもと、ネットワーク藍として順調に機能している所です。このネットワークがよりいっそう安定して行けば障害のある方々は生まれ育った地域での生活はなんとか暮らせて行けるのではないかと考えておりますが、現在の形態が崩れない事にあります。財源不足の為、補助金等の減少があれば、崩れてしまいますし、応益負担により自己の持ち出しが多額になる程、利用者は支援を受けられなくなります。これから先、まだまだ難しい問題が出てきます又、私達に課せられた問題も山積されています。それらを1つ1つを解決に向けて頑張ってまいりますので、皆様方のお力をお借ください、見守ってください。 施設長 保田 八十次

新年会



平成17年1月6日（木）

天王寺ステーション「百楽宴会場にて・・・」

お花見



4月5日(火)奈良公園へお花見に行ってきました。今年も天候に恵まれお花見をすることができました。来

年もどこにお花見に行くのか楽しみになってきました。

節分の日

「手巻き寿司に挑戦」

2月3日(木)毎年恒例となりました、なかまと職員で節分の日の巻き寿司づくりを行いました。



チョコ作り



2月9~10日、バレンタインデーに向けてなかまの女子と女子職員で、チョコ作りを行いました。

お礼

この度大阪府共同募金会が運営する「公益信託近藤きよ子記念福祉基金」より、本施設の3階作業室におけるエアコン設置事業への助成金80万円の配分を受けました。障害者福祉の充実に、適正に有効に活用いたします。

健康診断



「 血圧測定中・・・」

5月23日(月)長吉出戸小学校にて市民検診に行きました。

城南短大実習生

6月6日(月)から8日(水)までの3日間、大阪城南女子短期大学から4名の実習生が来てくれました。



福祉ボランティア体験

6月9日(木)平野北中学校から6名・6月14日(火)~16日(木)東住吉中学校から7名のみんなが、福祉ボランティア体験学習に来てくれました。

七夕作り

6月29日(水)に7月7日の七夕に向けての短冊作りをみんなで行いました。「ボーナスがいっぱいもらえますように」、「ケーキがたくさん食べられますように」などの願いごとをする人もおられました。

なかま一泊旅行

9月15日16日の2日間でなかま1泊旅行に行ってきました。



した。今年は大阪万博以来、35年ぶりに万博が開催されるということもあり「愛・地球博」長久手会場に向けて出発しました。

プール活動

7月26日より待ちに待ったプール活動が始まりました。今年には長居障害者スポーツセンターへ4回と舞洲スポーツセンターに1回と計5回行って来ました。今年も多くのボランティアさんの、お手伝いもあり事故なく活動することが出来ました。ボランティアの皆さんありがとうございました。

夏期実習生受け入れ

7月27日(水)から8月26日(金)まで4週に分けて



3日間、夏期実習生を受け入れを行いました。

「なかまと一緒に作業」

年頭所感

新年明けまして、おめでとうございます。

皆様方には輝かしい新春をご家族お揃いで健やかに迎えになられた事を、お喜び申し上げます。昨年はひらの作業所に対し大阪市ご当局を初め地域の方々、関係機関、各種団体、すべての皆様に支えられ2005年を無事に過ごす事が

出来ました事に、心より厚くお礼申し上げます。

当作業所も開所以来27年になり法人格を取得し4年が過ぎました。振り返れば色々な出来事がありましたが、すべての人々に支えられ助けられ、山あり谷ありの道のりを乗り越えてきました。その甲斐があって、現在の作業所が存在しております。利用者におきまして、多くの方々が利用されました。諸般の事情で退所され去って行かれた方々も多くありました。開所より今日迄ずっと利用されておられる方もいます。2005年の10月に「障害者自立支援法」が可決成立されましたが、障害者にとりましては厳しいものがあります。厳しく資源のない中、利用者1割負担をしながら地域生活を送らねばなりません。この作業所も地域生活を送るに必要な資源の一つとして、利用者を利用して頂きたいと思っております。そのためにも、今まで以上に間口を広げ、多くの人々を受け入れて行ける体制作りをして行く所存ですので、今後とも皆様方の変わらぬご理解とご支援の程よろしく申し上げます。

施設長 保田 八十次

アミティ舞洲運動会

1月11日(金) 舞洲スポーツセンターで「第8回アミティ舞洲運動会」に行ってきました。



日産チャリティー公演

12月6日(火) 日産労連福祉基金によるクリスマス公演にご招待を受け、泉ヶ丘にある国際障害者交流センター(ビック・アイ)に行ってきました。

もちつき大会

「よいしょ・よいしょ」 12月21日(水) 天候にも恵まれもちつき大会がひらの作業所で開催されました。



初詣・書初め

平成18年1月5日(木) 恒例の杭全神社へ初詣に行ってきました。新しい年を迎え、なかま・職員共に今年の願いを胸に参拝・おみくじを引きました。

新年会

平成18年1月6日(金) 今年も天王寺ステーションビルにある中華料理「百楽」で作業所・グループホーム・居宅介護事業所合同の新年会を行いました。



育成会お正月大会



「福引抽選会大当たり！」

1月15日（日）、大阪市北区民センターで「新成人を祝うつどい」に行ってきました。大福引抽選会では特賞までいきませんが、見事に3等の「低反発まくら」が大当たりしました。

巻き寿司作り

2月3日（金）毎年恒例となりました、なかまと職員で、節分の日の巻き寿司作りを行いました。

午後からは「豆まき」を行いました。職員・なかまが、鬼の面をかぶり「鬼は外」・「福は内」とみんな大きな声で豆まきを行いました。

ポップサーカス

「ポップサーカス大テント会場」

3月23日（木）読売新聞大阪本社及びポップサーカス様よりご招待を受け、南港 WTC



にて「ポップサーカス大阪公演」に行ってきました。

お花見

4月6日（木）鶴見緑地へお花見に行ってきました。3月



下旬から4月にかけて雨の日が多い中で、日ごろのおこないが良いのか見事に晴天となりました。きれいな桜

を見ながら、大勢でお弁当を食べているとみなさん自然と心が和むように思えました。

中学生福祉ボランティア実習

6月1日（木）平野北中学校から6名、6月13日（火）

～15日（木）東住吉中学校から3名の計9名の生徒さんが、福祉ボランティア体験学習に来てくれました。

健康診断

6月26日（月）長吉出戸小学校で、健康診断に行ってきました。

運動・食事等に気を配ったおかげで、ほとんどの人が前回の検診よりも体重が減るという嬉しい結果となりました。



城南短大ボランティア



7月10日（月）城南短期大学のボランティア部に所属している学生さんが、ひらの作業所へ1日ボランテ

ィア体験に来てくれました。いつもは地域支援センターひらの内にある児童デイサービスセンター「くれよん」でボランティア活動をされています。

七夕作り



「星に願いを・・・」

7月7日（金）みんなで七夕の短冊作りを行いました。色とりどりの短冊に、皆さんそれぞれにいろいろな願いごとを

書きました。願いごとの中には、「毎日健康で過ごせるように」「阪神が優勝するように」などの願いごとをする人もいました。

なかま一泊旅行



9月14日（木）～15日（金）の2日間で、なかま1泊旅行に行ってきました。今年は、「ゆったり

とした旅をテーマ」にみんなで考えた結果、温泉がいいと言う意見が多かったので、福井県の芝政ワールド・宿泊先は石川県にある加賀山城温泉に行くことに決めました。

プール活動



今年も待ちに待ったプール活動の季節がやってきました。7月27日(木)より隔週の木曜日に、長居障害者スポーツセンターにて8月24日(木)まで活動を行いました。

夏期実習生受け入れ



7月24日(月)～8月30日(水)まで4週にかけて3日間、夏期実習生受け入れを行いました。

年頭所感

新年明けまして、おめでとうございます。

皆様方には新しい年を家族お揃いで健やかに迎えられました事と、お喜び申し上げます。

当作業所も、地域を始め大阪市ご当局関係者各位より、暖かいご支援、ご協力をいただき新しい年を迎えることができましたことに対し心より厚く御礼申し上げます。

さて新しい年を迎えましたが、社会情勢には厳しいものがあります。昨年4月には「障害者自立支援法」が施行され10月には本格的に実施されました。その中身は、障害のある人・家族・支援者(事業所)に取りましては厳しい内容のものです。利用者には応益負担、事業所には報酬単価の引き下げ、グループホームへの対応の厳しさ等、所得保障もなく、支出の増で障害のある人が今後の生活を続けて行く事ができるのか、不安がつのるばかりです。この厳しい現実の中家族、支援者が大きく変わる福祉の流れの中、どう支えていくのか、課題は山積みされています。

この作業所も安全で安心のできる、社会参加の場、生活訓練の場として利用者たちのために、今以上に発展させて行かねばと考え取り組んでいるところです。

どうぞ本年も変わらぬご支援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

施設長 保田 八十次

アミティ舞洲運動会



11月10日(金)舞洲スポーツセンターで「第9回アミティ舞洲運動会」に行ってきました。今大会より6作業所から9名

の本人委員が会議を行い、競技の企画・立案・司会・競技進行全てを行いました。

もちつき大会

12月20日(水)天候にも恵まれ当作業所恒例のもちつき大会を行いました。蒸し上がったもち米を臼に移し、なかまたちが



順番に杵を持ち、勢いよく「よいしょ・よいしょ」の掛け声と共につきあげていきました。つきあがったお餅を、テーブルに運び、みんなで1口サイズの大きさに成形していききました。

新年会

平成19年1月9日(火)天王寺都ホテルにて、作業所・ケアホーム・居宅介護事業所・児童デイサービス合同で社会福祉法人藍の新年会を行いました。

なかま・職員・保護者合わせて45名参加され、和食会席コースを食べながら楽しいひと時を過ごしました。

お礼

社団法人京都馬主協会様より助成金を頂き、作業所のシャワー室を浴室に改造することができました。平成18年12月末に風呂場が完成致しました。

社団法人京都馬主協会様に心より厚くお礼申し上げます。

育成会お正月大会

「成人おめでとうございます！」



1月14日(日) 大阪市中央区民センターで、「新成人を祝うつどい」に行ってきました。

最後に、みな

さんお待ちかねの大福引抽選会が行われ、今年は特賞までいたりませんでした。ひらの作業所からは「水筒」などの景品が3つ当たりました。来年もまた楽しみにしたいと思います。

巻き寿司作り

2月2日(金)、今年は節分の日に、作業所がお休みということもあり、一日早いですがなかまと職員で巻き寿司作りを行いました。



お花見



「桜の木の下で・・・」
3月29日(木) 大阪城西の丸庭園へお花見に行ってきました。今年は、例年に比べ暖冬ということもあり、お花見の時

期を早く行うかで大変迷いました。みんなで話し合った結果、例年より1週間早い取り組みとなりました。



なかま日帰り旅行

9月13日(木) 日帰り旅行に行きました。今年は、日帰りという事で、近郊で



楽しめる場所を考えた結果、琵琶湖や彦根城などの観光スポットがある

滋賀県に決まりました。当日は、お天気にも恵まれ、彦根城では、国宝「彦根城」築城400年祭が開催されており、イメージキャラクターである「ひこにゃん」などが迎えてくれました。

プール活動



今年もみんなが待ちに待ったプール活動の季節がやってきました。7月23日・30日・8月20日・27日 月曜日

に、長居障害者スポーツセンターにてプール活動を行いました。

今年は、特に猛暑の中で作業を行っていますが、プール活動日は、冷たい水で暑さを忘れられるのでみんな楽しみにしています。

夏期実習生受入れ



「作業体験中」

7月25日(水)～8月31日(金)の各週3日間、5週にかけて夏期実習受け入れを行いました。初めて、ひら

の作業所に来られた実習生は、皆さん緊張された面持ちで作業していましたが、日が経つにつれ自分のペースをつかみ、なかまと一緒に作業が出来る実習生もおりました。

謹賀新年

園生・職員・後援会員を初め関係者の皆様、あけましておめでとうございます。

皆さん方は、家族お揃いで新しい年をお迎えになられたことを心よりお喜び申し上げます。昨年は、自立支援法施行のもと色々な面で（事務手続）その他、新事業体制移行への準備などで大変忙しい年でした。自立支援法も障害者には良い法律とは言えず、国の方でも見直しをされると聞いております。障害者が地域で安全に安心な生活を送ることが出来る良い法律になることを願っています。私たちはいかなる時代がこよとも、元気で明るく楽しい生活を送れる様、皆で力を出し合い協力をし良いシステムを築き上げていきましょう。

生活介護ひらの 施設長 保田八十次

生活介護ひらのについて

平成18年4月（一部施行）10月に全面施行された障害者自立支援法より、ひらの作業所も新体系への移行となりました。

障害者自立支援法によるサービス体系の再編にて、これまでの障害者福祉サービスであった小規模通所授産施設ひらの作業所から平成19年10月1日（月）より生活介護『ひらの』へ変わりました。

生活介護とは常時介護を必要とする方に、入浴、排泄、食事等の介護を行うとともに、創作的活動や生産活動の機会を提供します。

生活介護『ひらの』は、これからも地域社会に根ざした福祉サービスの提供を行い地域資源のひとつとして活用される施設作りを目指して行きたいと思っております。

今後とも、生活介護『ひらの』へのご支援・ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

日産ミュージカル

12月10日（月）日産労連福祉基金より、クリスマスチャリティー公演に、ご招待を受け泉ヶ丘にある国際交流センター（ビッグ・アイ）に行ってきました。

今年の演目は、劇団四季のミュージカル「魔法を捨てたマジョリン」というお話でした。

また機会があれば招待していただければと思います。

アミティ舞洲運動会



11月16日（金）大阪市知的障害者育成会主催の「アミティ舞洲運動会」に参加しました。

今年は、第10回記念大会ということもあり、本人委員による「開会式・記念式典」など企画されました。昨年同様に、生活介護「ひらの」からも本人委員会会議に、2名が参加し本人委員会競技の「借引人HERO`S」の企画・運営を行いました。

もちつき大会

12月20日（木）毎年恒例のもちつき大会を行いました。

前日は、天気が良くなかったので心配でしたが、なかまの思いが通じたのか晴天とまでは行かないまでも、無事もちつきが出来るくらいに天気が回復してくれました。

来年もみんな元気でもちつきが出来るようにと願っています。

忘年会

12月27日（木）昨年同様、南巽ベーカリーレストラン『サンマルク』にて、忘年会を行いました。

料理の内容は、前菜から始まり焼き立てパン・ハンバーグ・食後のドリンク・デザートを頂きました。

新年会

平成20年1月6日（日）生活介護「ひらの」・ケアホーム「藍」「友」「幸」・居宅介護事業所・児童デイサービス「くれよん」合同の藍ネットワーク新年会を行いました。場所は「かに道楽」松原店にて、なかま・保護者・職員合わせて総勢50名の大人数での開催となりました。

育成会お正月大会



1月14（日）森之宮 KKR ホテル 2F 星華の間で、「新成人を祝うつどい」が行われました。今年、生

活介護「ひらの」からも2名の方が成人を迎えられました。心よりおめでとうございます。

お花見



4月4日（金）鶴見緑地公園へお花見に行ってきました。今年、桜の開花より天気の影響もなく、晴天でむ

かえることが出来ました。鶴見緑地で散策を行い、大きな池の景色を楽しんだり、丘



の上の風車などで写真撮影などされ、ゆったりとした時間を過ごしました。

中学生福祉ボランティア実習

6月10日（火）～12日（木）東住吉中学校から5名、6月11日（水）平野北中学校から4名の計9名の生徒さんが、福祉ボランティア体験実習に来てくれました。

アミティ舞洲運動会本人委員会議

7月23日（水）大阪市育成会（上本町6丁目）にて、第11回アミティ舞洲運動会本人委員会に行ってきました。ひらのから2名が参加されました。



夏期実習生受け入れ

7月25日（木）に実習生が来られました。1日という短い実習のため親子共に仕事などを体験してもらいました。



プール活動



今年もみんなが待ちに待ったプール活動の季節がやってきました。7月7日から8月29日の月曜日と火曜日の二班に分かれて、長居障害者スポーツセンターにてプール活動を行いました。

なかま一泊旅行



9月18日（木）～9月19日（金）の1泊2日で、三重県志摩・鳥羽方面に、なかま・職員の28名で旅行に行ってきました。

朝から少し雨が降っていましたが、みなさんバスに乗り込みひらのを出発しました。志摩スペイン村では、少々の雨が降っていましたが、3つの班に分かれて楽しみました。

ボランティアライブ

10月3日（金）午後2時から作業所2階で、出前でお馴染みの「夢楽らいぶ」一座さんが来てくれました。

楽しい歌やギター弾き語りショーで、なかま職員共々盛り上がりました。これからも夢を歌い続けていってほしいと思います。

いもほり 「たくさんとれたよ！」

10月13日（月）秋晴れの空の下、なかま職員総勢30名で富田林サバーファームへ、芋ほりに行ってきました。園内入ってすぐのところには、満開のコスモスが一面に咲いており、皆さんうれしそうに見ていました。お昼になり



園内レストランに入り、園内で取れた旬の野菜などを使った料理をおいしく頂きました。

新年あけましておめでとうございます。

皆様方には、新年を家族おそろいで迎えられました事を心よりお喜び申し上げます

私たちの事業所も多くの方々に支えられ、ご協力を頂いたお陰で新年を迎えることが出来ました。

心より厚く御礼を申し上げますと共に感謝いたします。

2009年を迎えた今年、昨年のアメリカのサブプライムローン問題が、日本にまで押し寄せ100年に一度の大不況に見舞われ、私たちの生活の大きな影響が出てきてしまい、これから先苦しい生活が何年先まで続くことか、その中で生活介護ひらのも新事業に移行して2年が過ぎました。この不況の中、法人藍としていかにして乗り切るか乗り越えられるかが、大きな課題であり経営と運営を問われることとなります。

障がい者が生まれ育った地域の中で、安全で安心の出来る生活を送ることが出来る組織作りを今以上の強力なものにしていかねばならない。その為には法人を中心とし関係ある人々が、一団となり協力をしあい障がいのある人達を支えていくことが、法人としての役割と考え、取り組んでまいります。今後とも変わらぬご支援とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

生活介護ひらの 所長 保田 八十次

アミティ舞洲運動会



11月16日(金)
大阪市知的障害者
育成会主催の「第
11回アミティ舞
洲運動会」に参加
しました。

もちつき大会



毎年恒例となりました「もちつき大会」今年もお天気に恵まれ、12月23日(火)に今年「ケアホーム」との合同で「生活介護ひらの」で開催することができました。

忘年会

12月26日(金)恒例になりつつある南翼ベーカリーレストラン『サンマルク』にて行いました。料理のメニューはフルコースで、メインディッシュと食後のドリンクだけそれぞれなかまに選んでもらいました。例年



と大きく変わらず前菜から始まり焼き立てパン・メインディッシュ(ハンバーグ・ステーキ・ビーフシチューなど)・食後のドリンク・デザートの方に頂きました。

焼きたてパンの種類も豊富で食べ放題という事もあり、みんなパンを好きなだけ食べていました。今回は、サービスデーだったので瓶詰めの葡萄100%ジュースが、各テーブルに1本ずつ用意されていました。なかまにとって、至れり尽くせりといった感じでとても幸せそうでした。皆さん、おいしいもの食べながらお正月休みの過ごし方などの話をして楽しい時間を過ごされました。

新年会

平成21年1月6日(火)生活介護「ひらの」・ケアホーム「藍」「友」「幸」・居宅介護事業所合同の藍ネットワーク新年会を行ないました。場所は「木曽路」長居公園前店にて、なかま・保護者・職員合わせて総勢40名の大人数での開催となりました。

今年も所長の新年の挨拶に始まり、利用者代表から「乾杯!!」の音頭でスタートしました。前菜・お造り・豆乳鍋・天婦羅・御飯・デザートなどのお料理を楽しくお話しをしながらいただきました。

最後に、保護者代表より閉会のことばをもって終了となりました。

お花見「大手門前」



4月8日(水)、晴天の中、大手門をくぐり大阪城公園「西の丸庭園」へお花見に行ってきました。桜の開花宣言

が早かったこともあり、落ち桜を見る羽目になるのではと心配していましたが、いざ大阪城へ着くとそんな心配も吹き飛ばすくらい、辺り一面ピンク色の景色が広がり、その波間から勇壮にそびえる天守閣は、息を呑む美しさでした。



節分の日 「鬼は外・福は内！」

豆を分け合い、お面をかぶった職員が現れると・・・これでもか！！と言わんばかりに投げる人・投げずに食べる人もいました。



みなさん歳の数だけ食べて、一年の“厄”を払いました。

バレンタインコンサート「鑑賞中」



2月11日(水) 平野区民センターにて大阪市知的障害者育成会主催のバレンタインコンサートに行ってきました。

バレンタインデー

2月12日(木)、2月13日(金)の二日間でバレンタインのチョコレート作りをしました。チョコレートをみんなでできざんだり、マドレー



ヌの上にチョコレートを塗ったりとみんな楽しそうにしていました。

3月13日(金)には、男性だけでベビーカステラを作り



ました。たこ焼き機を使って、チョコレート、ウィンナー、チーズなどを入れて焼きました。

福祉車両 寄贈

平成21年5月30日(土) USJ ステージ33、ユニバーサル・スタジオ・ジャパンにおいて USJ の社長様初め、関係者の方々、大阪市より平松市長御出席のもと、福祉車



両をご寄付下さいました。ここに心より感謝するとともに、厚く御礼申し上げます。

こどもの日「5月5日(火) 祝日の取り組み」

午前中は、いつも通りに仕事を行い、お昼からも「さあ仕事を始めよう」と、なかまが準備を始めると出てきた物は、ヨーヨー釣り・スーパーボールすくい・ダーツ・輪投げでした。

プール活動 「夏だ！プールだ！！スポセンだ！！」



7月に入り、待ちに待った大阪市長居障害者スポーツセンターでのプール活動。

中学生 福祉体験学習

9日(火) から11日(木) の三日間は、大阪市立東住吉中学校から三名、18日(木) は、大阪市立平野北中学校から6名の生徒さんがそれぞれ来所されました。

パズル作り

7月20日(月・海の日) 約半年ぶりに創作活動を行いました。内容は、パズル作り。無地のパズルに思い思いの

絵や、似顔絵、キャラクターなど描きました。

「みんな違ってみんないい。」 そんなありきたりな言葉をみんなで実感できました。

「梅雨の晴れ間に、朝の散歩中。。。」



夏期実習生受け入れ

今年は、三校の特別支援学校より、20名の実習生の皆さんが来てくれました。たくさんの実習生と一緒に仕事ができ、ひらのの皆さんはいつになく楽しそうでした。

なかま一泊旅行

今年のなかま一泊旅行は9月10日(木)・11日(金)の一泊二日になりました。(株)ユー・エス・ジェイ様より福祉車両をご寄付いただいたことを背景にお礼を兼ねて、USJに遊びに行ってきました。



ひらの祭り

今回で二回目を迎えるひらの祭りです。前回に比べコーナーが一つ減りましたが、前回の成績を上回ることを目標にそれぞれコーナーを回っていました。

謹賀新年

新年明けましておめでとうございます。

昨年、永く続いた自民党政権から民主党政権に変わりました。それと同時に厚生労働大臣が障がい者自立支援法の廃止を打ち出しました。それに変わる障がい者総合福祉法(仮称)に移行し、障がい者福祉制度を抜本的に見直しされる事となったのです。私達が安心して暮らせる良い制度になることを期待しています。「生活介護ひらの」では、障がいのある人たちが生まれ育った地域で生活を送るのに必要とされる支援を、一人一人に合ったニーズに合わせ

てサービスを提供していく事が私たちの使命だと考え取り組んでいます。色々なご相談にもお応えしていきたいと思っておりますので施設の方にもお越し下さい。

障がいがある・障がいがないに関わらず地域の方々と力を合わせ皆が、安心して暮らせる社会を不景気な時代だからこそ強く望むのです。

社会福祉法人藍 理事長 保田 八十次

クリスマス会

今年のクリスマス会は12月16日。スペシャルゲストとして、以前にもお越しいただいた夢楽ライブ座というボランティアバンドグループの方々に今回も来て頂きました。



ケアホーム(共同生活介護)より

今回より、ケアホームからの記事も掲載させていただくこ



ととなりました。ケアホームは、世話人や生活支援員とよばれるスタッフのケアのもとでなかまと共に共同生活を送る場所

です。毎年お花見や紅葉狩りなどの合同行事も開催しています。昨年は観光バスを貸し切り、岡山県まで行って来ました。・・・みんなでのんびり足湯を堪能中・・・

『重い障がいがあっても、地域で当たり前の暮らしができる』ように取り組んでいきたいと思っています。

餅つき

12月23日に餅つき大会が開かれました。

忘年会

毎年お世話になっている「ベーカリーレストランサンマルク巽店」へ行ってきました。

新年会

今年も生活介護、ケアホーム、居宅介護事業所で合同の藍ネットワークでホテルのレストランにて行われました。

お花見

今年のお花見は4月8日に行きました。行先はひらの



では7年振りの万博公園に行きました。現地に着いたら快晴の空と満開の桜でひと安心。“ま



た来年も綺麗に咲いていたら嬉しいな。”そう言いながら今年のお花見を締めくくりました。

鬼は外

この日は午後より、豆まきをしました。自分の年の数だ



けの豆を食べるのですが、すでにまいている時から食べていたり、まかずに食べることに専念している方もいま

ました。来年の豆まきも楽しい雰囲気です。

バレンタイン&ホワイトデー

2月11・12日は朝から男性に渡すためにチョコレート作りをしていた為に女性が忙しの日になりました。気



なる男性の名前を書いたり、ハートを書いたり、それぞれのやり方でオリジナルのバレンタインを楽

んでいました。

ひらの祭り開催『どうやったら真っ直ぐに飛ぶんやろ?』

今年もやってきました! なかまもお待ちかねのひらの

祭りです。なかまの皆も今回は準備からの参加で、自分で準備したもので開催と言うのは以前とはまた違う楽しみがあったようでした。自分



で作ったものがコーナーで出るのが楽しかったようで、皆大満足で今回のお祭りは終わりました。もっともっと楽しめるように皆で工夫していきたいですね。

中学生福祉体験

今年も2校から中学生の皆さん10名が元気いっぱい

にひらのへ来てくれました。実習の最後にはレクリエーションとして、紙芝居をしてしてくれまし



た。中学生の皆さんありがとうございました。

準備完了! さあ行くぞ~!



この暑さを吹き飛ばすように長居スポーツセンター内のプールへ行ってきました。

ケアホームより

ケアホームでは高齢や障害等から運動が困難である方も体力の維持や向上、また健康的、効果的に運動を行ってもらうことを目的として、週に1回プール活動を行っています。

水泳活動と利用者一人一人にプログラムを設けて取り組んでいます。



ケアホーム・人気料理コーナー

ケアホーム自慢の料理



これが嫌いな人はいない!! 肉じゃが。

暑い夏、温かい食べ物でお腹に一休み。きつねうどん。



なかま一泊旅行 ポルトヨーロッパ

9月16日(木)～17日(金)に和歌山方面へ行ってき



ました。出発時は小雨が降っていましたが全日空ゲートタワーホテルに着く頃には雨も上がりました。



明治乳業ヨーグルト館です。展示されていた『大関 琴欧州』の等身大パネルとの写真撮影が思い出になったようです。

『やっぱり琴欧州大きいなあ』

祝日の取り組み

9月21日(火)に外食に行ってきました。

8月のなかま会で利用者さんにアンケートを取って企画・開催したものです。とんかつ、中華、パスタ、回転寿司と4つの選択肢を用意し、自分で選んでもらいました。

夏の出来事

毎年8月の初めに町内会の納涼祭があり、今年も皆で参加して来ました。皆で当て物のゲームをしたりして楽しみました。



謹賀新年

新年あけましておめでとうございます。

皆様方には、新しい年をご家族お揃いでお迎えされたこと、心よりお喜び申し上げます。

さて、民主党政権が発足し、厚生労働大臣が障がい者自立支援法の廃止を打ち出して一年と数か月が過ぎようとしています。今のねじれ国会において、「障がい者福祉」の行方が気にかかる所ですが、障がい者が生まれ育った地域で安心して暮らせる「障がい者総合福祉法(仮称)」の早い実現が望まれるところです。しかしながら、国も地方も事あるごとに財源が無いといひます。そのような中、

我々国民は障がいがあるなしに関わらず、今の日本で生きて行かざるを得ませんし、そのためには国会そのものが国民の為にしっかりした政治改革を行ってほしいものです。

昨年を振り返りますと、我が子への虐待や殺人が毎日のようにテレビ・新聞をにぎわしていました。虐待に関しては、家庭の構造に問題があるのではと考えます。核家族のため誰からも子育てを教わることも無く、また「向こう3件両隣」といった近隣との付き合いもないなかで、子育てに行き詰まり、子どもに当たる様になっているように思えます。犯罪については、欲しいものは何が何でも手に入れようとする自己中心的な動機によるものや、短絡的に人の命を奪ってしまうという冷酷さが浮き彫りになっていたと思います。このように、今の世の中は大変悪質な時代になってきているように思えますが、私はいつも「如何なる時代が来ようとも親として我が子を育てる義務がある」と口癖のように言っています。人は一人では生きては行けず、皆で協力し、手を取り合い、助け合っていかななくてはならないと思っています。新年を迎え、全ての方々が地域の社会資源を自分なりにうまく活用し、自分らしい生活が送れる事を祈念するとともに、生活介護ひらが藍サポートネットワークの一員として、その手助けができるよう一層の努力をしていきたいと考えています。

社会福祉法人藍 理事長 保田八十次

餅つき大会

12月23日開催

忘年会

12月24日「ベーカリーレストラン・サンマルク巽店」

新年会

1月6日「がんこ平野郷屋敷」



昨年は、洋食だったので和食で行ってみよう！ということで、に総勢44名で無事行うことができました。

お花見



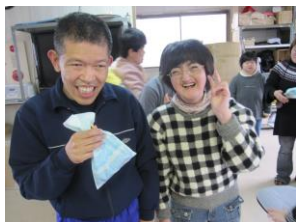
ケアホームの日中余暇

週末の余暇では、皆と一緒に散歩に出かけたりもします。先日このような出来事がありました。公園での散歩中、散歩道を歩いているとふとしたことで声をかけられることがありました。

「私もぜんぜん歩かれへんかったけど、頑張っってゆっくりウォーキングしていたら歩けるようになったから、あんたも頑張りや！」と近所の方から励ましのお声を頂いたときは、涙が出るほどうれしかったです。利用者さんも感動して泣いて、「私も頑張るわ！」と笑顔で答えていました。散歩をすることはこのような出会いがあるのも魅力ですね。

バレンタイン&ホワイトデー

大阪ではめずらしく雪が降る中、女性陣は思い思いに職員と一緒に、様々な形のチョコレートを作りました。



雪遊び

2月11日、女性陣が、一生懸命チョコ作りに頑張っている時に、男性陣は大阪では珍しく雪が積もったので、近くの公園に雪遊びに行きました。公園に、行くまでもどん



どん降ってくる雪・雪を投げて声を出していたり、雪だるまを作り楽しそうな表情でした。

「藍サポ通信～明日に向かって～」 創刊号

「社会福祉法人 藍」および「有限会社 ひらの」では広報活動として、季刊誌（「明日に向かって」および「HIRANOだより」）を統合し、「藍サポ通信～明日に向かって～」を発行することといたしました。

当季刊誌では、利用者様の事業所内や様々な活動での様子をご家族へお伝えすることや、福祉サービスの利用を検討されている方々が藍サポートネットワークの活動内容を知るうえで、非常に有効な手段となるとも考えます。今後も、これらの広報活動を通して、利用者様への藍サポートネットワークの周知を図るとともに、藍サポートネットワークによる様々な活動を充実・向上させていきたいと考えています。

プール開き

やってきました！プールの季節です！

今年も生活介護ひらのでは、長居障がい者スポーツセンターにお世話になろうと思います。今年もなかまとプールでおおいに楽しんで遊び、楽しい夏の行事の一つに出来ればいいかな．．．と思います。



ひらの祭り開催

5月の子どもの日！今年もひらのの名物のひらの祭りが開催されました。

皆のアイデアでヨーヨーすくい・スーパーボールすくいなど企画しました。自分たちで創った祭りはやはり楽しいもので「こんなに取れたよ！見て見て！」と楽しめました。



中学生、福祉体験

今年も元気いっぱいの中学生（2年生・5名）が、生活介護ひらので福祉体験をされました。

くれよんニュース

2011年4月1日から、「地域生活支援センターHIRANOくれよん」と「社会福祉法人藍くれよん」という二つの事業体制になりました。これからもよろしくお願ひします。

くれよん うどん作り

みんなでうどん作りをしました。

粉まみれになりながらも力いっぱいこねてコシがつよーいおいしいうどんができましたー！！



くれよん 新しい仲間！！めだか・ザリガニ



頑張っています ^^

くれよんに新しい仲間がやってきました！！

めだかとザリガニです！

こどもたちも、えさやりや水槽の掃除など一生懸命

謹賀新年

新年明けましておめでとうございます。

さて、昨年は日本にとりまして大きな出来事がありました。東日本大震災、それに伴い福島原発事故、近畿では水害被害があり多くの犠牲者がでました。又、財産も無くなり大きな打撃を受けると同時に人生を大きく変えられてしまいました。犠牲にあわれた方々に対しご冥福をお祈り致しますとともに1日も早い復興を願っております。

昨年民主党政権が変わると同時に、障害者自立支援法が廃止され、障がい者総合福祉法（仮称）が出来るという議論がなされています。私達にとって良い法律の成立を期待するものです。また大阪府・大阪市も新しい首長に変わり、新しい大阪を目指し議論されています。今後の大阪にも期待していきたいものです。

私達も子供達も年を取るにつれ、様々な問題が出てきます。また出てきた問題を解決していかなければなりません。如何なる時代や時が来ようとも親としての義務を果たして我が子を育てていかなければなりません。自分の子供に合った国の制度と地域にある資源と人材を組み合わせ、上手く活用して自分なりの生活を送れるように取り組んで下さい。

社会福祉法人藍理事長

兼 有限会社ひらのの会長 保田 八十次

もちつき

12月23日（金）にもちつき大会を実施しました。この日は児童デイサービスのスタッフも沢山お手伝いしてくれました。



初詣&書き初め

平成24年1月5日（木）は新年初出勤日。杭全社に初詣にでかけました。参拝をすませてから『花みくじ』というおみくじをひきました。【大吉】・【中吉】・【末吉】今年の運勢を占いました。

午後はひらのに戻って書き初めをしました。硯に墨汁を入れて、筆を落とし、皆さん思い思いに好きな字を書いています。



ケアホームでの過ごし方（ホーム幸）

ホーム幸では4名利用されています。日中活動の事業所



より早い時間に帰ってくる2名の利用者さんは洗濯物をたたんでくれています。こちらからお願するのではなく、

スタッフが洗濯物を取り入れる様子を見て「たたんであげるわ。」と言って積極的に参加してくれています。

クリスマスコンサート

今年は、クラリネット四重奏「クリスマスコンサート」を開催しました。利用者のお母さんを中心とした



グループのご厚意により演奏していただきました。

新事業所建設について

社会福祉法人藍では、待機児童の解消と卒業後の日中活動の場の拡大を図り、少しでも多くのニーズをカバーできるよう、放課後等デイサービス（旧法：児童デイサービス）と生活介護の多機能型事業所の建設に着手いたしました。



生活介護 ひらの

- 2月3日（金）恵方巻き作り&豆まき
- 2月14日（火）バレンタインデー
- 3月14日（水）ホワイトデー

社会福祉法人藍くれよん

地域生活支援センターHIRANOくれよん

- 2月3日（金）豆まき
 - 3月28日（水）公園散策
- 春休みに入り気候も穏やかに
なったので、近所の公園に遊び
にいきました！



ケアホーム「趣味への支援」

ホーム藍の女性利用者から編み物をしたいというリクエストが上がりました。“編み物という複雑な作業をうまく



伝える事ができるのか”当初は不安を感じるスタッフが大半でした。驚くほどの集中力で編

み物を覚えようと努力している姿は、食事の時間さえ惜しんでいるほどでした。これは“編み物”自体に興味があり“マフラーを作りたい”という目標があった事はもちろん、そのあとに“作ったマフラーを好きな人にあげたい”という思いがはっきりしていた事が大きく影響したのだらうと思います。

社会福祉法人 藍 平野西事業所 !!完成!!

かねてより建設中でありました新事業所がこの程ようやく竣工し、7月1日に「社会福祉法人 藍 平野西事業所」として発足いたしました。これも偏に皆様様の絶大なるご支援の賜物と深謝申し上げます。

生活介護 ひらの

6月19日～21日東住吉中学校 保育福祉体験

今年は、男子3名・女子2名の5名が保育福祉体験へ



来られました。最終日には、中学生が企画してくれた玉入れ・パン食い競争・飴取りゲームをみんなで楽しみました。準備からチーム分けまで全て中学生が担当し、玉入れではチームの力が均等になるように、

かごの高さを変えたり、スタッフの参加制限を変えたりとその都度ルールを変更しながらみんなが楽しめるように考えてくれました。

岡山・鳥取県一泊旅行



1日目 現代玩具博物館
～とっとり花回廊～大山
ロイヤルホテル

2日目 水木しげる記念館・水木しげるロード～お菓子のお城



社会福祉法人藍 第二くれよん

社会福祉法人藍第二くれよんが開所され、4か月が経ち



ました。夏休み中、第二くれよん以外ではプールがありました。ここではハンモックを使って遊んでいます。

謹賀新年

あけましておめでとうございます。皆様方には家族お揃いで良いお年を迎えられました事を心よりお喜び申し上げます。さて昨年12月の末には慌ただしい選挙があり民主党政権から又もや自民政権に変わりました。不安材料が山積みされる中、今後の日本がどのように変わっていくのか不安でなりません。

我々の関係する障がいのある人達にとりまして30年前の取り組みから今現在では、必要とする取り組みが大きく変わって来ています。さらに保護者の加齢、障がいのある人達の加齢にともなう支援のあり方も変わって来ています。今日では日中活動の場も元気に通える事ができる人に限られてきております。体に異常をきたして通えなくなった人の支援、また入院が必要になった時のフォローを保護者・親族の問題で終わってしまいがちでは無いでしょうか。心外ながらにして子供の面倒が見られなくなった時などの対応については、障がいのある子どもを持つ保護者の大きな課題になっています。

このような事態が生じた時、何処で誰がフォローをしていくことができるのかを考え、次の取り組みを真剣に考え作り上げていかなければならない時期がそこまで来ていますと言っても過言ではないと考えています。また親亡き後の子ども達の行く末についてより一層深く考えて取り組んでいかなければならないと実感しています。それに向けて頑張り作り上げていく中、障がい福祉に充実した国の施策に期待し実行してもらいたいと思っています。

社会福祉法人藍 理事長 保田八十次

生活介護 ひらの 寒い！けど、もちつきは楽しい

12月24日。最高気温6度と寒い気象条件でしたが、もちつきを実施しました。利用者みなさんも朝から寒さに負けずやる気満々の様子を見せてくれました。



ほっこりスペースができました

生活介護ひらのは二階フロアの一部を使って自由に休憩できるスペースを作りました。ソファを置いて、テーブルを用意し



ただけの簡単な休憩スペースです。初めは利用する人も少なかったのですが、徐々にソファに座る人も増え、昔の写真をみたり、絵を書いたりしながらすごされています。また、人が集まれば会話ははずみ、その会話にはいりたくてさらに人が増え、今では座る場所が無くなるぐらいの勢いです。

藍 ホーム幸のお引っ越し

昨年の10月において、これまで使用していた大阪市営住宅の建て替えにより、大阪市からの退去指示を受け、ホ



ーム幸の転居が余儀なくされました。これに伴い急遽物件を探すことが必要になりましたが、社会福祉法人藍並びに地域の皆様の協力もあり、努力の末無事に新しい物件も決まりました。市営住宅から戸建て住宅に変わることによって居住スペースも広くなり、よりゆったりと生活ができるようになりました。

牛乳パック活動 ～助っ人参上編～

生活介護ひらのが取り組んでいる牛乳パックの回収活動に第二くれよんの保護者さんも協力してくれています。メンバーは



毎週金曜日に回収に伺い、段ボールいっぱいにとまった牛乳パックをみて「おー」「すごい」の歓声があがっていました。今後も回収活動への協力よろしくをお願いします。

牛乳パックをご提供くださいました皆様、ありがとうございます。

社会福祉法人藍平野西事業所 生活介護開始

4月1日より社会福祉法人藍 ひらのの従たる事業所として、社会福祉法人藍平野西事業所で生活介護を開所しました。5人の利用者と3人の職員ですが、毎日にぎやかに過ごしています。

元気で笑顔いっぱいの平野西事業所をよろしくお祈いします。



社会福祉法人藍くれよん・第二くれよん 地域生活支援センターHIRANO くれよん

豆まき

今年もくれよんでは職員が扮した鬼に向かって、子ども達が豆を投げました。中には投げる事より食べる事に夢中になり、豆をモグモグと美味しそうに食べている子もいました。



七夕週間

七月の代表的な行事と言えば、七夕ですね。くれよんでも季節感を大事にしたいという事もあり、みんなで七夕にちなんだ創作活動をしました。みんなの願い事が書かれた色とりどりの短冊が飾られた笹はとても綺麗で、素敵な七夕週間になりました。



～くれよんのかわいい仲間たち～

くれよんの保護者様からの提供で新しい大きな水槽がくれよんにやってきました！以前は水槽が小さく、数匹しか育てられなかったメダカたちですが、大きな水槽のおかげで、エビやタナゴなど種類も増えより一層にぎわい、元気に泳ぎ回る姿がみられるようになりました！



藍(共同生活介護)

ケアホームでは、余暇の充実を図るとともに利用者さん同士の交流の場として利用者の皆さんの楽しみの一環として3つのケアホーム合同で平日の外食企画を6月から新しく始めました。



今回は、【200℃ハンバーグ(平野店)】に集り各ホームの利用者さんとスタッフで食事を開催しました。終わりに「おいしかったわ!」「また来たい!」「楽しかった!」などの利用者の皆さんからのありがたいお言葉もいただきスタッフ一同嬉しく思っています。これからも利用者の皆さんに楽しかったと思ってもらえるような企画を考え取り組んでいきたいと思ひます。

社外交流

6月8日(土)、四国は愛媛県松山市にある介護老人保健施設 高井の里から支援相談員さんと



作業療法士さんが平野西事業所に見学に来られました。見学では利用者さんと交



流していただいたうえ、ひまわりのプレゼントまで頂戴し、とてもよくしていただきました。このような繋がりをもっと増やしていきたいと思ひます。

生活介護 平野西事業所 «一泊旅行に行ってきました»

10月10~11日ユニバーサルシティに行ってきました。

もちろんメインはUSJ!!アトラクションやパレード、ハロウィン仕様のディナーにお土産選び♪閉園まで存分に楽しんできました。



～納涼祭～

8月3日、平野南連合町会が主催する納涼祭が平野南小学校のグラウンドを使って今年も開催されました。私たちひらのもパターゴルフやわなげなどを準備して参加しました。

藍(共同生活介護)

ケアホーム藍での余暇の過ごし方に物作りがあります。

願いを込めたパーストーンの
ブレスレット作りや、棒針、鍵
針を使い、マフラーや膝掛け
レゼント用にマフラーを7本位



編んだ人もいます。個性的作品
が沢山でき、あらためて個性を
伸ばすために必要なのは、自由
なのだと感じました。

～牛乳パック 感謝～

生活介護で行っている牛乳パック
回収の取り組みで、生活介護の方
から「いつも協力してくれているお礼
に」と手書きの感謝状をいただきま
した。協力する側、協力してもらう
側、両方の温かさと思いやりを感じ
ることができて嬉しく思います。



謹賀新年

新年あけましておめでとうございます。皆様方におかれ
ましては、健康で明るく良い年を迎えられました事を心よ
りお慶び申し上げますと共に、昨年は当法人に暖かいご理
解とご支援を頂きました事に厚く御礼申し上げます。

昨今の国際情勢は大変混乱した状況にあり、我が国にお
いても悲惨な事故や事件が頻繁に起き、TVや新聞にはそ
れらの記事が絶えず報道されていたのではないでしょ
うか。新たな年を迎えて、世界中からこのような出来事が無
くなっていく事を祈る次第です。

さて、当法人では事業開始当初からご利用の方々にとっ
ては今年で35年を迎えることとなりますが、そのような
年月が経った今、利用者の加齢に加え親や家族の高齢化に
より、様々な問題が浮上してきています。障がいを持つ当
事者が支援を必要としているだけではなく、その親や家族

に対する支援の必要性も高まってきているということも
その一つです。我々が進めてきた障がい者福祉は、利用者
のみならずその親や家族も含めた支援へと変容すること
が求められている状況にあります。そのような中、昨年、
当法人の生活介護では、作業中心の取り組みから個々の利
用者の状態に応じた活動に変更することを進めてきまし
た。今後は家族支援も視野に入れた事業を検討しなければ
なりません。福祉制度の壁、安定した人員の確保、事業
所の構造設備など解決すべき課題は多く、対応が困難な状
況にもあります。今は健康でお元気な親や家族の皆さんで
も、今後支援を必要とする時が来るかも知れません。その
ような状況を他人事ではなくご自身の問題として、「転ば
ぬ先の杖」を準備する必要があるのではないのでしょうか。
どんな時も安心して暮らせる社会作りに一緒に取り組ん
でいきましょう。

社会福祉法人藍 理事長 保田八十次

お餅つき

平成25年12月23日。天気はなんとか晴れ。この日
は毎年恒例のもちつきを行いました。



クリスマス週間

今年も去年に引き続き、くれよんではクリスマスパーテ
ィーを行いました。

クリスマスの準備で1人ひとりフェルトを使って自分
たちで靴下を作り、好きな飾りを自
分で選んで付けました。そして本番
では、その靴下にサンタがプレゼン
トを詰めて登場！みんなに配ってく
れ、子どもたちは大喜びでした。



生活介護 平野西事業所

3月31日、平成25年度の最終日で一年間お疲れ様でした〜♪という事で長居公園



へお花見に行ってきました。翌日4月1日からは新しい利用者さん5名とスタッ

フの顔ぶれも変わり、新年度がスタート！



まだまだ本当に利用者さん・職員共に全員が

手さぐりの状態ですが、毎日みんなで元気に楽しく一人ひとりの個性を活かしながら活動できる集団になれるようにこれからも日々いろいろなことにチャレンジしながらひらの西事業所のカラーを作っていきたいと思っています。

☆社会福祉法人藍くれよん・地域生活支援センター

HIRANOくれよん☆

5月5日は子どもの日ということで、子どもの日にちなんだ創作活動をしました。

子ども達の健康と健やかな成長を色とりどりのこいのぼりに願いました。



7月7日は七夕ということで短冊に願い事や絵を書き、笹に飾り付けました。

個性的な願いや絵はとても素敵で見ていると楽しい気持ちにさせてくれました。



☆今年のプール☆

水風船をプールに浮かべたり、シャワーやプールの水を掛け合ったり、潜ったり、パタ足で泳いだりなど夏のプールを楽しみました♪



藍(共同生活介護) さあ、みんなで相談しましょう！

今、各ホームの利用者さんやスタッフが集まって、ケアホーム利用者のイベントの打ち合わせをしています。

『やりたいと思った事を、どんどんやっていきたい』こうした皆さんの思いから、各ホームの利用者さんやスタッフが集まって話し合いを行う場所が生まれました。

利用者さん達がやりたい事をどんどん発信し、スタッフがそのお手伝いをする…そんな形に発展させていけるよう、これからもみんなで話し合える場を持ち続けていきたいと思っています。



生活介護 ひらの やつときたよバーベキュー

5月8日狭山市にあるふれあいの里にてバーベキューを行いました。西事業所のみなさんも加わり総勢50名ほどになった今年は荷物も多くなり、先発隊にあたった利用者さんは汗をかきながら準備を進めてくれました。みんなが揃うとバーベキューがスタート！「お肉焼けたよ〜」「ソーセージ食べる人」などの声がかかる度にお皿をもっておかわりに行く方がいたり、待ちきれない人は焼いている傍まで行って焼けるのを待っていたりバーベキューを大いに楽しんでいました。

生活介護平野西事業所

「何か夏らしい事はできないか…」そんなスタッフの思いから夏祭りの企画が始まりました。準備期間はあまりな



かったですが、利用者さんの協力もあり、無事当日を迎える事ができました。

年頭あいさつ

新年あけましておめでとうございます。さて、昨年12月末には衆議院選挙もあり、いくつかの政治改革案が打ち出されてはおりますが、国民の生活が豊かになったという実感はなく、我々の負担が軽減される制度改革にまでは至っていないのが実情ではないでしょうか？昨年の年頭あいさつにも書かせていただきましたが、設立36年を迎える生活介護の利用者におかれましては、加齢やご家族の高齢化により様々な課題が浮上してきています。「障害者の働く場」として立ち上げたひらの作業所も、授産といった活動よりも介護を提供する度合いが多くなり、特に医療を必要とする機会が増えていることを実感しております。そして、このように多様化する利用者ニーズに応えるためには、医療専門職の雇用、構造設備の改修、福祉のプロの育成、次世代の担い手の発掘等が必要ではありますが、ひとつの事業所がそれらを充足するには現在の福祉制度では非常に困難な状況でもあります。したがって、「法人間」、「事業所間」または「医療と福祉といった他職種間」の連携が今後ますます重要となり、利用者の方々にとっても多くの社会資源をうまく活用することが求められているといっても過言ではないと考えます。

障がい福祉に限らず、高齢化や家庭内介護の負担増は我々支援者側にも同じく生じている問題でもあります。法人経営の立場から、職員の生活支援にも十分な配慮が出来るような組織作りやサポート体制の充実が必要と考えています。そのためにも良質な支援者の育成や補充は必須であり、またそのことは法人が直面している課題でもあります。当法人としては我々の果たすべき責務と限界を明確に理解し、サービスの提供に加え、必要な情報提供に努め、利用者の方々と職員の安心を築けるよう本年も努力したいと考えています。皆様のさらなるご理解とご協力をお願い申し上げます。

社会福祉法人藍 理事長 保田八十次
有限会社ひらの 代表取締役 保田眞規生

ヘルパー日誌

今回は移動支援で11月に紅葉を見に大阪城公園に行ってきました！大阪城では大阪の陣というイベントをしていて、着物などをレンタルして写真を撮ってくれるブースがあり、大阪城を背景に撮影をしてきました！



☆社会福祉法人藍くれよん・地域生活支援センター

HIRANO くれよん ☆

ボランティア

今年のくれよんでの夏祭りには、利用児童のごきょうだいがボランティアとして参加してくださいました。参加くださったボランティアさんは、作業療法士を目指されている大学生の方で、夏休みを利用してのご参加でした。

～ボランティアさんからの感想文～

5日間という短い期間ではありましたが、ボランティアという形で貴重な体験させていただき、本当にありがとうございました。たくさん子ども達と接する中で自分自身の知識不足や能力不足を感じる事が多々あり、悩む場面がありました。作業療法士を目指す者として、今回の経験が少しでも活かされたらと思っています。繰り返しになりますが、くれよん職員の皆さま、そして子ども達に感謝の気持ちを述べたいと思います。本当にありがとうございました。

平野西事業所 ～事業所交流会～

年末年始に平野南事業所と平野西事業所合同の忘年会と新年会を開催し事業所間の交流を図りました。昨年12月の「忘年会」ではパンが美味しいサンマルクにおでかけし、ランチコースをいただきました。1月の「新年会」は、何と！！KKRホテル14階の広間で行いました。私たち職員も含め利用者さんもホテルでのお食事などなかなか経験出来ない事だと思うので今回の交流会は良い経験になったのではないかと思います。これからもお互いの交流を深めていけるように事業所を行き来したり、一緒に活動出来るようにしていきたいと考えています。

生活介護ひらの

3月より、主たる事業所(南事業所)と従たる事業所(西事業所)との週に2回の活動交流が始まりました。



音楽活動では音楽に合わせて手を叩いたり、前に出ている職員の真似をしたりしていますが、時には利用者の方に前に出てきてもらい、独創

的な動きで他の利用者や職員の笑いを引き出して大いに場を盛り上げてくれる利用者の方もおられました。音楽活動の終わりには、「また来て下さい」や「また来るね」など次回に繋がるようなやりとりも見られました。

社会福祉法人藍くれよん

地域生活支援センターHIRANOくれよん

★花見★ 4月になり暖かくなり、春らしくなってきましたね^^

春と言えば
桜、桜と言え
ばお花見と
いうことで
近くの公園
にみんなで



花見に行きました。これからも季節を感じられる行事を子ども達と一緒に楽しんでいきたいと思ひます。

☆父の日☆

今年の父の日の製作では、7枚の折り紙から作った“傘”



に絵を書いたり、お父さんや日頃お世話になっている人に向けてメッセージ



を書き込んだりしました。梅雨だからこそ明る

く楽しく過ごそうというイメージで作られた傘は、本格的な仕上がりになりました。

ヘルパー日誌 ～余暇支援お花見～

4月に造幣局の桜を見に行ってきました♪

色んな種類の桜が咲いていて利用者さんは「綺麗～」と笑顔で喜ばれていました。昼食は出店で好み焼きを購入し、桜を見ながらいただきました。



重度訪問介護の利用者さんと近くの河川敷まで散策をしてきました。小雨の降る天気ではありましたが、いつもと違った散策にご自身もとても楽しまれました。わずかなことではあり

ますが、非日常を味わうことは重度の障がいの方にとって非常に大切なことだと思います。

生活介護ひらの バーベキュー

生活介護5月21日(木)に狭山ふれあいの里にて、主従の事業所合同でバーベキューを行いました。

この日は天気も良く木陰に入ると涼しげな風が吹き絶好のバーベキュー日和でしたよ～。



生活介護ひらの ♪ハガキ作り♪

「手作り紙漉きハガキ」を始めました。



完成品は3枚100円で販売中!

生活介護ひらの 一泊二日旅行

9月10日(木)・11日(金)と今年にはひらの南と西事業所の合同で姫路へ旅行に行ってきました～!!



謹賀新年

新年あけましておめでとうございます。皆様方におかれましては、健康で明るく良い年を迎えられました事を心よりお慶び申し上げます。

昨年は様々な事情から職員の離職が重なり、その都度人員配置の見直しや組織改定が余儀なくされ、皆様には多大なご心配とご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。そして、皆様の温かいご支援、ご理解、ご協力に加え、残された職員の方々の並々ならぬ団結力のおかげで、多くの窮地を乗り越えてこれたことに深く感謝申し上げます。さて、大阪市の統計では、平野区の障害者数が24区でトップとなりました。最近では、事業所の数も増え、様々なサービスを展開している法人様も増えていると聞きます。医療的ケア、入浴サービス、日祝の受け入れ体制など、それぞれが事業所の特色を生かし、利用者のみならずが望むサービスを選べるようになってきているかもしれません。一方で、ヘルパーの不足や個別のニーズに対応できていないという実態も平野区にはあります。放課後等デイサービスにおいては、平野区でも20社を超えるまでに増加し、この傾向は全国的なものとなっています。障がいサービス事業への新規参入となれば、放課後等デイサービスという一種の流行になりつつある中、厚労省においても「量」よりも「質」に着目し、指導されていると聞きます。当法人は平野区で先駆的に当時の児童デイサービスの指定を受け、療育に重点をおいてサービス提供して参りました。この事業だけでなく、生活介護や居宅介護なども含め質の高いサービスを目指し今年も鋭意努力して参ります。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

社会福祉法人藍 理事長 保田八十次

有限会社ひらの 代表取締役 保田眞規生

生活介護ひらの クリスマスコンサート

12月17日木曜日に生活介護ひらので西事業所と合同で、“ママプラスひらのMerry”さんに来ていただき、を開催しました。“ママプラスひらのMerry”さんは、



ママさん中心で結成された活動6年目のプラスバンドです。去年の10月に喜連北小学校で開催された「喜連北はぐくみコンサート」にご招

待いただいた際、みなさんととても楽しんでおられたので、今回来ていただくことになりました。

生活介護 新年会

今年も年の初めに、ひらの生活介護合同（主従）でKKRホテル大阪に新年会に行きました。去年同様その日ばかりは、みなさん会場に行く前の車内から、いつも以上に会話がはずみ、楽しみにされているようでした。そして会場に到着し、利用者代表の方が乾杯の挨拶をしてくれ、新年会がスタートしました。今回の新年会は大阪知的障害児者生活サポート協会（大阪生活サポート協会）から助成金を受けて開催しています。

社会福祉法人藍くれよん

地域生活支援センターHIRANOくれよん

七夕祭り

夏祭り



ハロウィンパーティー「トリック・オア・トリート!!」



クリスマスに向けてリース作り



資料編

S55年の創設以来ひらの作業所ニュース「明日にむかって」が季刊誌として発行されていました。

1990年2月8日第三種郵便認可 明日にむかって10月号 2000.10.25(朝18258新・1810円、4120円)

明日にむかって

第20巻・第10号(No.228)

編集・発行人 障害者の働く場-05の事務局 〒547-0031 大阪市平野区平野3-11-35 ■FAX (06)6799-1065 郵便局口座 00940-9-72552 新人 細 八枝

今年もあと、2ヶ月とちょっととなりましたね。年々季節の変わりめがずれているようで、9月の中旬になって朝晩がだいぶ涼しくなり、10月の中旬を過ぎた頃になってやっと秋らしくなったような気がしてきましたね。ここのごとく各地で天災がおきて大きな被害を受けているようで、この先どうなるのかと心配になります。いつ、自分達の街にも災難がふりかかるかもしれない世の中ですね。

さて、秋になると行事が増えひとつひとつの行事を楽しみにしているなかまもいます。夏の疲れがでて体調を崩さないようにこの秋を楽しみたいと思います。

1990年2月8日第三種郵便認可 明日にむかって10月号 2000.10.25(朝18258新・1810円、4120円)

2000年

宿泊訓練

今年、10月8(日)・9(月)・10(火)の三日間で宿泊を行いました。宿泊先は大阪市此花区にある『ファミティ 舞洲分所』でした。いつもお世話になっている場所なので、勝手に我が家みたいになんか帰ってしまいました...



3日作りのスケジュールは...

【8日(日)】

- 9:30 いつも通りの時間の起床
- 12:00 作業所で昼食(おはれし...)
- 13:00 作業所出発!
- 14:00 アミティ舞洲到着
- アミティ舞洲スポーツセンターにてスポーツ活動
- 18:00 夕食
- 19:00 交流会(ファミティ舞洲分所)
- ボウリング大会!! 1勝、高得点をだしていました。
- 20:30 入浴
- 22:00 就寝

神戸、梅田の各方面へ出かけそれぞれ楽しみました。

- 18:00 夕食
- 19:00 交流会
- 庭から降ってきた雨も止め、花火大会決行。たくさんの手持花火を堪能しました。
- 20:30 入浴
- 22:00 就寝

【10日(火)】

- 7:00 起床
- 8:00 朝食
- 9:30 創作活動(ファミティ舞洲分所)
- ペットボトルを使って、楽器作りでした。作った楽器を鳴らしながら、カノエタイムとなりました。
- 12:00 昼食(ファミティ舞洲分所)
- 14:00 アミティ舞洲出発
- 16:00 作業所解散

こうやって、2泊3日の宿泊を無事終えました。



毎月28日は
全興寺出店日
保護者の手作り品を中心に衣類なども販売しております。
平野区平野本町4-12-21
全興寺にて

11月のカレンダー

- 1日(水) 保護者手作り(予定)
- 11日(土) 育成会全国大会1日奈良
- 13日(月) 代休
- 17日(金) 市盲成会舞洲運動会
- 18日(土) 創作活動
- 19日(日) 日曜作業所
- 常磐会短期大学学園祭出店
- 障害者登山
- 20日(月) 代休
- 25日(土) 休所日
- 28日(火) 全興寺出店

※22日(日)「ワゴン」有難町(総務)も定休(19時)

なかまの作業も順調です。作業の種類も変わらず、ホビープロダクツさんのプラスチック製品のシール貼りや袋入れや箱入れの仕事は、お蔭様でまんべんなくいただいています。有り難いことです。!!

他に橋金属さんからもカーテンレールの組み立ての仕事をお願いしています。この仕事が好きで仕事をいただいたら、喜んで一人張り切ってやっているなかまがいます。このなかまにとっては、かけがえのない仕事なので、途切れないように祈ってます。一人でやっている仕事と言えば徳野商會さんの軍手の袋入れの仕事です。急ぎの仕事ではないのでゆっくりとマイペースでしています。

最後にアンブレラネールの釘さしの仕事です。この仕事は大和産商さんからいただいています。この作業は多数のなかまが参加できるものですが、小さい穴に釘をさすのが難しいようです。

あっ、それと空き缶つぶしの作業も忘れてはいけませんね。空き缶つぶし機を使って手でするのですが、腕の力があるようです。潰した空き缶は、環境事業局に持って行って図書券に変わる重要な仕事なのです。それに潰した空き缶を自動車を持って行くのに一緒について行くのを楽しみにしているなかまがたくさんいて、たまに乗りたくても乗れない事もあるくらいです。

こうして、たくさんのお客様さんのお蔭でなかまの仕事が続けられています。本当に心より感謝しております。

季刊誌「明日にむかってⅡ」

平成 13 年度以降、季刊誌は「明日にむかってⅡ」として発行されました。

明日にむかってⅡ

編集・発行 社会福祉法人 藍 小規模通所授産施設 ひらの作業所 発行人 保田 八十次
547-0031 大阪市平野区平野南3-11-35 TEL (06) 6799-1065

第8号 (季刊誌)

なかま一泊旅行



(In 愛知リトルワールド)

(1例紹介：平成17年度版表紙)

平成 22 年になり有限会社ひらののからも季刊誌が発行されることに。

地域生活支援センター HIRANOだより

平成22年1月 創刊号
〒547-0033大阪府平野区平野西4-7-28
地域生活支援センターHIRANO
TEL/FAX 06-6703-1711

「ひらの」が考える地域支援とは

代表 保田 八十次



新年あけましておめでとうござい
ます。皆様方には家族おそろいで新
しい年を迎えられました事を心より
お喜び申し上げます。

さて、私達の事業所（地域生活支
援センターHIRANO）も皆様に利用
していただく事で、少しずつ分かっ
ていただけている事とお喜びする
人たちの存在が欠かせません。そ
こから、今後、より一層センターの
事を深く知っていただく為の情報提
供として、センター便りを創刊する
事にいたしましたので、ご愛読頂け
ば幸いです。

創刊号としまして「ひらの」が考
える地域支援について書かせていた
だきます。今までは、諸般の事情で
障害のある人を各家庭で面倒を見
るのが困難になった時、行政が行政
責任のもと措置（選択権がなく、必
ずどこかの施設入所が決定される）と
して対応し、各施設にて入所させて
来ましたが、その制度が廃止され、
障害があっても決められた所に行く
のではなく、自分の生まれ育った地
域で生活を送る為には支援が必要
な事になりました。自分にとって良
い地域生活をおくれるようになるの
です。しかし、現実的に問題も多く、
できない事や難しい事がまだまだ多
いのが現状です。センターでは児童
から大人の人達（高齢者）まで、身
体に障害のある方、知的に障害の
ある方すべての方々に支援を行な
う責任があります。今よりほんの少
しでもより

良いと思える生活を送って頂く事を目指
しています。

しかし、人がいれば良い、誰でもいい
という事ではなく、よりよい人材の確保は
厳しく、利用者の方々のニーズにどこまで
応えられているのかと問うと、できていな
い事の方がまだまだ多いように思います。
ですが、人材の確保、育成等できる事を一
つ積み重ね、少しでもより良い支援へと
続けて行きたいと考えております。

また、支援というものを一時的なもの
として捉えず、生涯に渡って一人ひとりの
人に関わっていきける事を望んでいます。
特に障害のある人の場合は、乳幼児期から
成人期までのライフサイクルを通して見て
いく中でこそ、その人を知る事ができ、
その人にあった支援をみいだしていき
けるのだと思います。それこそが本来
の支援と考えるべきです。また、日々
の生活の中で出てくる様々な問題、
疑問に対しての質問、相談等がありま
したら、共に考えていきたいと思っ
ておりますので、センターの方まで
お気軽に足を運んでいただければと思
います。



平成 23 年になり社会福祉法人藍と有限会社ひらのは藍サポートネットワークとしての連携を強化。これまでの季刊誌を統合し発行することになりました。

藍サポートネットワーク 季刊誌

Ai Support Network magazine

藍サポ通信 ～明日に向かって～

Vol.1 (創刊号) 発行日 2011年 8月 17日

社会福祉法人藍

大阪市平野区平野南 3-11-35

Tel (06) 6799-1065

有限会社 ひらの

大阪市平野区平野西 4-7-28

Tel (06) 6703-1711

発行責任者 保田 八十次

編集 藍サポートネットワーク広報委員会

<http://www.oct.zaq.ne.jp/ainetwork/index.html>



藍サポートネットワーク季刊誌 「藍サポ通信～明日に向かって～」 創刊号

「社会福祉法人 藍」および「有限会社 ひらの」では広報活動として、季刊誌（「明日に向かって」および「HIRANO だより」）を統合し、「藍サポ通信～明日に向かって～」を発行することといたしました。

当季刊誌では、利用者様の事業所内や様々な活動での様子をご家族へお伝えすることや、福祉サービスの利用を検討されている方々が藍サポートネットワークの活動内容を知るうえで、非常に有効な手段となるとも考えます。今後も、これらの広報活動を通して、利用者様への藍サポートネットワークの周知を図るとともに、藍サポートネットワークによる様々な活動を充実・向上させていきたいと考えています。

作業所の概要

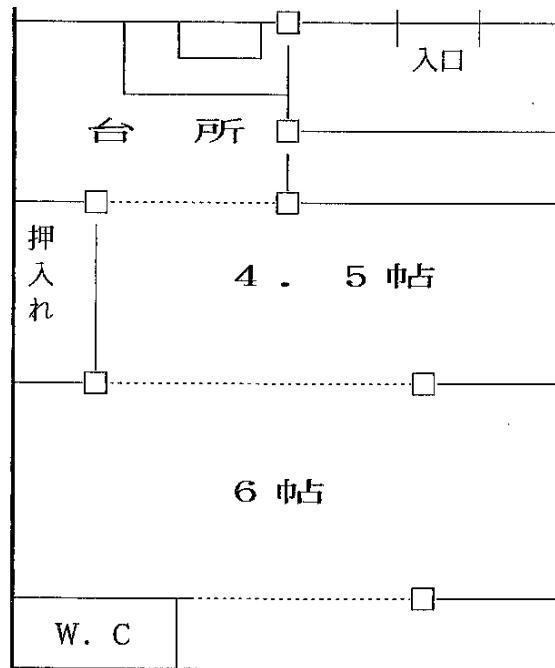
- 名称 障害者の働く場 ひらの作業所
- 設置主体 手をつなぐ親の会ひらの作業所
- 運営主体 ひらの作業所運営委員会
- 入所者の状況（平成12年10月1日現在）
 - （性別）（障害種別）
 - 男性 10名 知的障害 14名
 - 女性 8名 知的障害と肢体不自由の重複 4名
- （年齢区分）
 - 20代 2名
 - 30代 11名
 - 40代 5名 平均年齢 37.1歳
- （住居区分）
 - 平野区 13名 阿倍野区 1名
 - 東住吉区 3名 生野区 1名

●指導方針の内容

作業を通じて働くことの喜び・生きがいを感じ、楽しく作業ができ協調性・持続性など社会の一員として意識を高める。また、集団生活の中でお互いを助け合い、思いやりの心を育て個々の成長を図る。

●施設規模

☆開所～昭和57年



文化住宅をお借りして

大阪市喜連4-3-13
北野文化

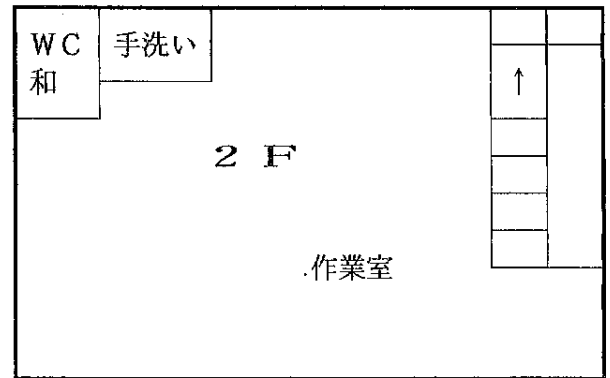
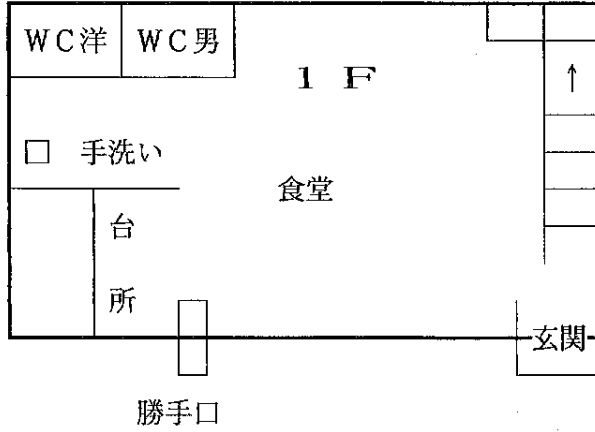
☆昭和57年～現在

大阪市有地無償賞与 移転

大阪市平野区平野南3-15-26

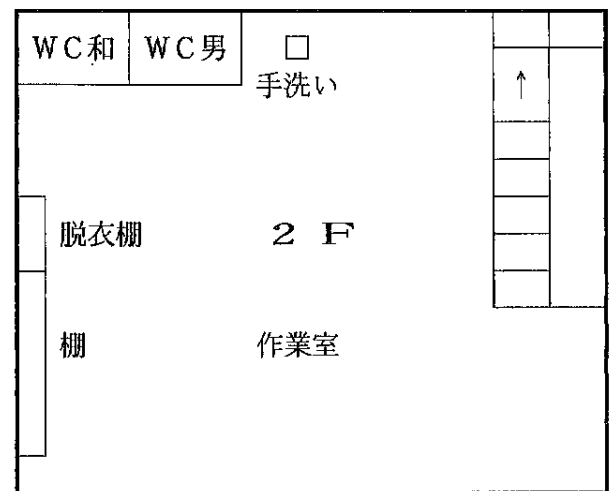
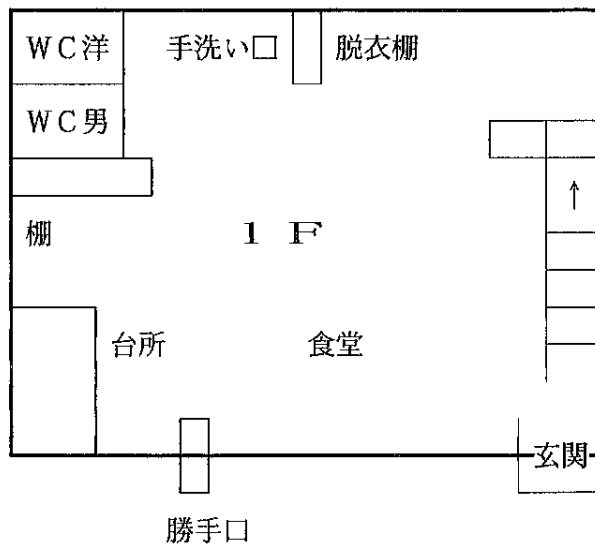
(現在区画整理の為、番地変更 平野南3-11-35)

- ・プレハブ2F建て 敷地面積 165.28m²
延床面積 95 m²
1F 47.5 m²
2F 47.5 m²



- ・昭和58年 倉庫完成 1F横 約23m²

- ・昭和59年 増築 延床面積 145.8m²
1F 64.8m²
2F 81 m²



事業所概要（ひらの作業所：現在の社会福祉法人藍 平成5年～）

〒547-0031

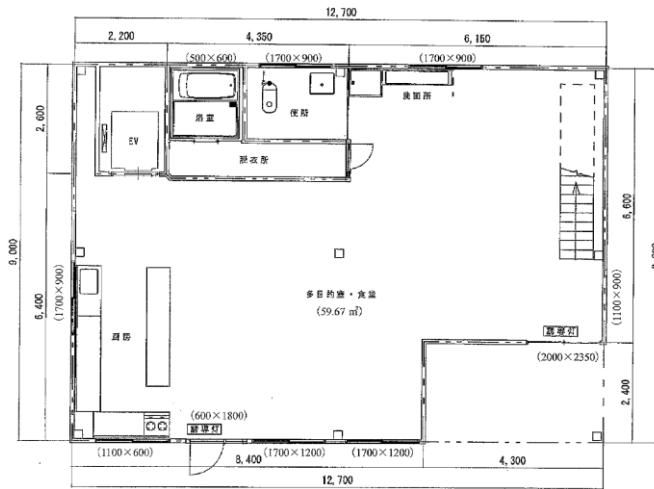
大阪府大阪市平野区平野南 3-11-35

TEL 06-6799-1065

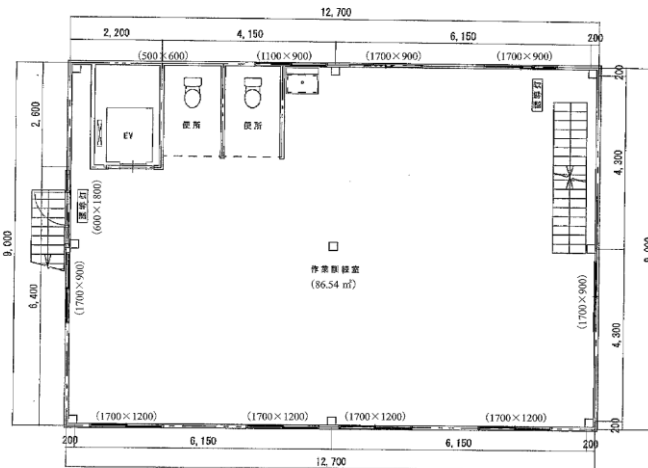
FAX 06-6799-1065 (TEL と共通)



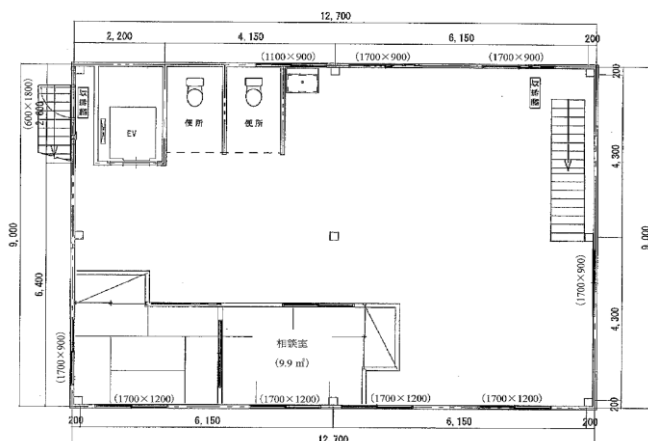
社会福祉法人 藍 ひらの (主) 1階平面図



社会福祉法人 藍 ひらの (主) 2階平面図



社会福祉法人 藍 ひらの (主) 3階平面図



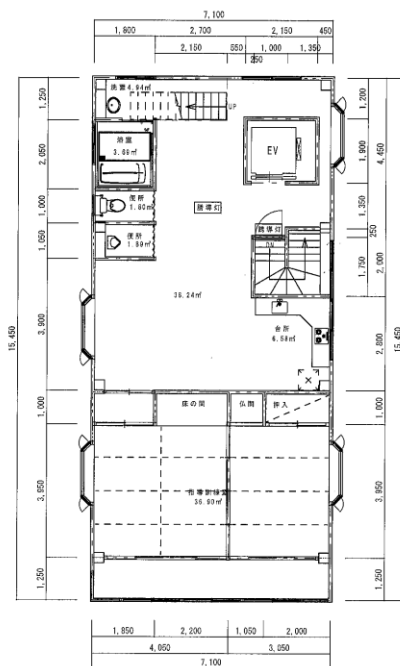
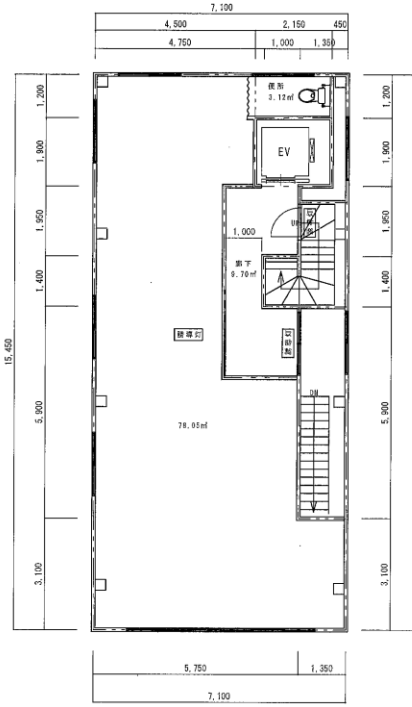
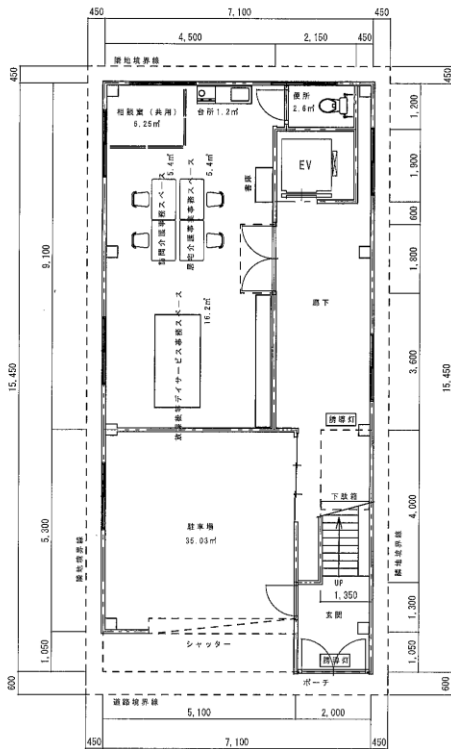
事業所概要 (有限会社ひらの 平成 17 年～)

〒547-0033

大阪府大阪市平野区平野西 4-7-28

TEL 06-6703-1711

FAX 06-6703-1223



2F平面図

3F平面図

4F平面図

事業所概要（社会福祉法人藍 平野西事業所 平成 17 年～）

〒547-0033

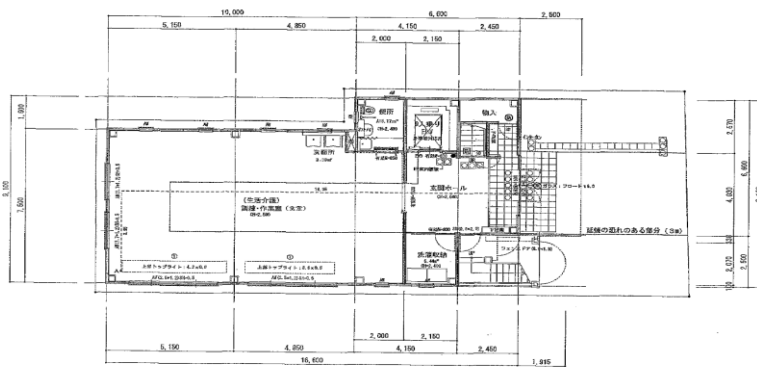
大阪府大阪市平野区平野西 1-10-14

TEL 06-6796-8611

FAX 06-6796-8622

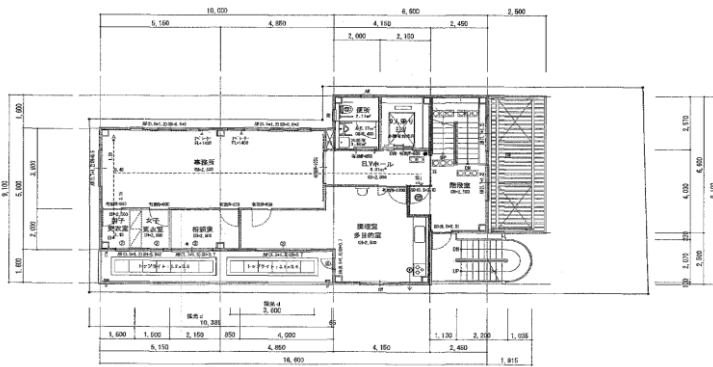


算出 床面積 (㎡)		延床面積 (㎡)	
A	102.83	A	104.75
B	102.83	B	102.83
C	102.83	C	102.83
D	102.83	D	102.83



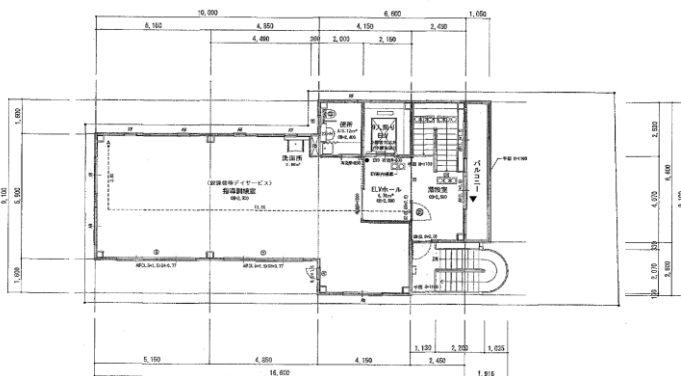
用途別	床面積	延床面積	用途別	床面積	延床面積
A	102.83	102.83	A	102.83	102.83
B	102.83	102.83	B	102.83	102.83
C	102.83	102.83	C	102.83	102.83
D	102.83	102.83	D	102.83	102.83

2 F



算出 床面積 (㎡)		延床面積 (㎡)	
A	102.83	A	102.83
B	102.83	B	102.83
C	102.83	C	102.83
D	102.83	D	102.83

3 F



事業所概要（グループホーム 平成 10 年～）

藍（あい）

〒547-0027

大阪府大阪市平野区喜連 6 丁目

木造・一戸 2 階建て

4LDK・70.4 m²



（平成 10 年～平成 27 年：居住地の集約を目的に平成 27 年 4 月に移転）



友（ゆう）

〒547-0031

大阪府大阪市平野区平野南 3 丁目

鉄筋 13 階建マンションの 603 号

3LDK・48.6 m²

（平成 13 年～現在）

幸（さち）・幸 503

〒547-0027

大阪府大阪市平野区瓜破東 2 丁目

鉄筋・市営住宅の 404 号と 503 号

いずれも 2K・24.4 m²



（平成 17 年～平成 24 年：大阪市からの退去指示により平成 24 年 10 月に移転）

事業所概要（グループホーム 平成 24 年～）

幸（さち）

〒547-0024

大阪府大阪市平野区瓜破 2 丁目

鉄骨・一戸 3 階建て

4LDK・88.8 m²



（平成 24 年～平成 27 年：居住地の集約を目的に平成 27 年 4 月に移転）



（平成 27 年～現在）

藍（あい）

〒547-0014

大阪府大阪市平野区长吉川辺 3 丁目

鉄筋 7 階建マンションの 304 号

3LDK・66.1 m²

幸（さち）

同上

鉄筋 7 階建マンションの 303 号

3LDK・65.2 m²

事業所マップ



社会福祉法人藍 平野西事業所
・ひらの（従）
・社会福祉法人藍第二くれよん

有限会社ひらの
・地域生活支援センターHIRANO
・地域生活支援センターHIRANO くれよん
・社会福祉法人 藍くれよん

社会福祉法人藍
・ひらの（主）
（旧ひらのの作業所）

思い出スナップ



(昭和 60 年 恒例餅つき)



(昭和 63 年 芋ほり)



(平成 4 年 障害者登山)



(平成5年 スキー体験)



(平成6年 夏季実習中 作業風景)



(平成6年 区民まつり)



(平成7年 ナイター観戦)



(平成11年 創作活動風景・切り絵)



くすのき市では利用者の普段の様子を写真にて紹介されました。



杭全神社にて、くすの木市が開催されます。先月、先々月には、創作活動で作ったなかまの作品が展示され、また創作活動の講師である、川口彩さんがひらいている“ゆ〜ろぶ〜け”がフラワーアレンジメントを行い、好評のうちに終わりました。

残念ながら、6月のくすの木市ではなかまの作品の展示やお花の教室は行いませんが、とっても賑やかなので、いちど覗いてみてはいかがでしょうか？





(平成 11 年 創作活動風景・枝のオブジェ)



(平成 11 年 創作活動風景・生け花)






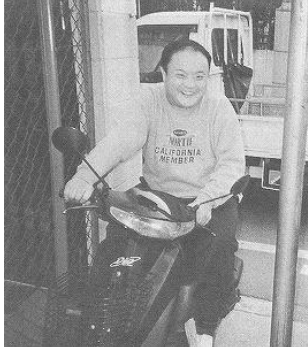

(平成 20 年 第 10 回アミティ舞洲運動会)



(平成 21 年 第 11 回アミティ舞洲運動会)

20周年記念誌より

20周年記念誌では作業所の取り組みを利用者さんが紹介されていました。

 <p>毎日、トントンとリズムよく頑張ってます。</p>	 <p>車に空き缶積んで、環境事業局に持って行くのが楽しみやねん!</p>	 <p>朝の会には時々、間に合わないけどごめんねー。</p>
 <p>僕はどの係もしません！結構！結構！</p>	 <p>今日はプールに入る日だー。やったー、僕の泳ぎを見て！！</p>	 <p>みんな、ちょっとしっかりしいや！OOくん、そんなんやったらあかんやん。お母ちゃんに言うでー！！</p>
 <p>僕は走ったら早いんでー。みんなついてこれるかな？わっ！追いついてきたー。あーこわかった。</p>	 <p>僕は走ったら早いんでー。みんなついてこれるかな？わっ！追いついてきたー。あーこわかった。</p>	 <p>僕は走ったら早いんでー。みんなついてこれるかな？わっ！追いついてきたー。あーこわかった。</p>

35周年記念式典

平成28年3月26日(土)

天王寺都ホテル5階 信貴の間 〒545-0053 大阪府大阪市阿倍野区松崎町1-2-8 (Tel: 06-6628-3200)

10:30 受付開始

11:00 開会

11:00~12:00 記念式典

12:00~14:30 懇親会

14:30 閉会



集合写真



理事長挨拶



功労賞表彰



利用者から理事長へ花束贈呈



保護者席



出席いただいた利用者さんたち

理念 <安心創造>

昭和55年に発足した障がい者の働く場「ひらの作業所」が藍サポートネットワークの起源です。障がい者を取り巻く環境が整備されていなかった当時の親たちは、障がいを持つ子供の生活や職場、そして親亡き後の不安を抱えていました。そのような親たちは「作業所」や「グループホーム」を自らの手で創り出し、不安を安心に変える活動を続けてきたのです。

その意志を我々は引き継ぎ、すべての瞬間において我々の活動が「安心」につながっているかを意識することで日々の安心を創り出し、そして振り返った時に誰もが「いい人生だったな〜」と思えるような支援を実践する集団を目指します。そのために「やりたいことやったらええやん」というスタンスで誰もが主体性を持って行動できるよう努めていきます。

行動規範

- ・ 利用者の安心を最優先とする。
- ・ 安心は家族に対しても与えられなければならない。
- ・ 安心は職員に対しても与えられなければならない。
- ・ 法令を遵守しなければならない。
- ・ 危機管理を徹底しなければならない。
- ・ 安定した事業基盤を構築し維持しなければならない。
- ・ 一人一人が主体性を持って行動しなければならない。

事業内容

社会福祉法人藍

障がい者事業

生活介護事業（ひらの）

共同生活援助事業（藍）

放課後等デイサービス事業（社会福祉法人藍くれよん、社会福祉法人藍第二くれよん）

有限会社ひらの

障がい者事業

居宅介護・重度訪問介護・同行援護等（地域生活支援センターHIRANO）

放課後等デイサービス事業（地域生活支援センターHIRANO くれよん）

相談支援事業（相談支援事業ひらの）

高齢者事業

訪問介護・介護予防訪問介護（地域生活支援センターHIRANO）

介護タクシー事業（地域生活支援センターHIRANO）

保険薬局事業（あんしん薬局）

沿 革

S55	5月	障がい者の働く場 ひらの作業所を開設
S57	9月	ひらの作業所を福祉作業センターとして開所（大阪府の補助金支給開始）
H10	1月	グループホーム藍の開始
H13	4月	グループホーム友の開始
	11月	社会福祉法人 藍を設立
	12月	知的障がい者小規模授産施設（小規模通所授産施設ひらの作業所）として開所
H15	1月	有限会社ひらの設立
H17	7月	グループホーム幸の開始
H18	2月	一般乗用旅客自動車運送事業の許可取得
	10月	「地域生活支援センターHIRANO」での介護タクシー事業・障がい福祉サービス事業（居宅介護・重度訪問介護）開始
		「地域生活支援センターHIRANO くれよん」で障がい福祉サービス事業（児童デイサービス：定員10名）開始
		グループホーム藍・友・幸を統合し「藍」として障がい福祉サービス事業（共同生活介護）開始
H19	7月	「地域生活支援センターHIRANO」で介護保険事業（訪問介護・介護予防訪問介護）開始
	9月	小規模授産施設ひらの作業所を改名し「ひらの」で障がい福祉サービス事業（生活介護）開始
H22	4月	「地域生活支援センターHIRANO くれよん」の定員を20名に拡大
H23	4月	「地域生活支援センターHIRANO くれよん」の定員を20名から10名に変更 「社会福祉法人藍 くれよん」で障がい福祉サービス事業（放課後等デイサービス：定員10名）開始 「地域支援生活センターHIRANO」で日中一時支援事業を開始 「ひらの」で日中一時支援事業を開始
H24	6月	社会福祉法人藍 平野西事業所を開設
H24	7月	「社会福祉法人藍 第二くれよん」で障がい福祉サービス（放課後等デイサービス：定員10名）開始
	9月	「相談支援事業ひらの」で特定相談支援事業及び障害児相談支援事業を開始
H24	4月	「ひらの」の従たる事業所として社会福祉法人藍平野西事業所にて生活介護の受け入れ開始
H26	8月	有限会社ひらのにおいて保険薬局事業「あんしん薬局」開始

あしがき

創立 35 周年記念誌の作成にあたり、平成 12 年に発行された「明日にむかって 20 周年記念誌」やアルバムを振り返り、当時の活気ある作業所の様子を手に取るように感じることができました。そして、障がいがあるということで偏見や差別が多くあった時代に、自分たちの手で子供たちの権利を守り、当たり前前の生活が送れるよう努力されていた親御さんたちの並々ならぬ苦勞がひしひしと伝わってきました。

今では、障がい福祉制度もある程度の整備がなされ、利用者がサービスを選択する時代となりました。そして、障がい福祉サービスを提供する事業所はその制度の枠の中で障がい者を支えている存在になっているように感じます。しかしながら、現在の制度では、障がい者の生活が限られた枠の中に限定されてしまうという危険性があります。障がいのある方が本当に安心して生活していくためには、決められたサービス内容、限られたサービス時間だけでは十分ではありません。

創立 35 周年を迎え、親も子も高齢になる中、親亡き後に不安を抱いていたことが今まさに現実になろうとしています。我々後継者が、その不安を振り払える存在になれるよう努力しなければならないことを、この記念誌を作成しながら強く感じました。

今後も皆様のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

保田眞規生

編集委員 藍サポートネットワーク広報委員

大田原莉香（社会福祉法人藍第二くれよん）

米村武将（地域生活支援センターHIRANO くれよん）

パニアグアカルロス（ひらの）

社会福祉法人藍 理事・監事・評議員（平成 28 年 3 月 25 日現在）

理事長 保田八十次

理事 新家一代／児玉智子／牧野和里子／西野直美／保田眞規生

監事 谷口幸男／鈴木千佳子

評議員 土井加津人／寺坂芳恵／芝田智史／中川智愛／柳吉相／荒井佐知子／河野 仁

（兼務理事除く）

三十五年の歩み

社会福祉法人藍 創立 35 周年記念誌

平成 28 年 4 月 25 日発行

発行責任者：保田八十次

発行：社会福祉法人藍

〒547-0031

大阪府大阪市平野区平野南 3-11-35

TEL・FAX 06-6799-1065 URL <http://ai-snet.com/>